

公認内部監査人 (CIA)

Certified Internal Auditor

社会人に朗報!!



教育訓練給付制度
指定コースが4月より開講



継続的専門能力開発制度(CPE)スタート

TACでもCPE単位を取得できます!



合格者割引制度

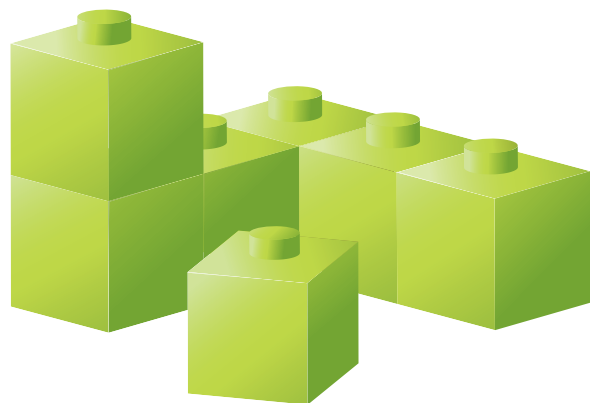
他資格合格者割引制度有り



無料講座説明会出席者特典

¥10,000 入会金免除券プレゼント

※詳細は裏面をご覧ください。



□公認会計士 □税理士 □簿記検定 □建設業経理士検定 □米国公認会計士 □公認内部監査人(CIA) □社会保険労務士
□中小企業診断士 □IPO実務検定 □証券アナリスト □証券外務員 □ファイナンシャル・プランナー □DCプランナー
□不動産鑑定士 □宅地建物取引主任者 □マンション管理士・管理業務主任者 □公務員 □行政書士 □通関士
□知的財産管理技能検定 □ビジネス実務法務検定 □情報処理技術者 □パソコンスクール □介護福祉士

東証1部上場(証券コード4319)株主優待制度あり

<http://www.tac-school.co.jp/>

資格の学校
TAC

TAC(株) CIA 339-0901-1001-12

「義務と責任を経営者が負う時代」が到来。

内部統制の本来のあり方は、経営者の自覚に基づき主体的に取り組むべきものです。内部統制は長期的視野に立って企業価値を向上させ、企業の存続と発展を意図する継続的な経営管理活動そのものであるからです。経営者が為すべき本来の役割といえます。

ところが、米国では大企業による会計不祥事が発覚し、資本市場の信頼を大きく揺るがしました。日本でも同じく、大企業による不祥事が起り、投資市場の信頼が損なわれました。

このように企業トップが関与する企業不祥事に対して、株主や投資家の保護を図るために、2つの法律が日本企業の内部統制を規定しました。一つは会社法で、統制環境を中心に全社的な内部統制が規定されました。もう一つは金融商品取引法で、評価対象を財務報告の信頼性を確保する目的で構築される内部統制に絞りました。さらに、全社的な内部統制のみならず、業務プロセスにかかる内部統制についても評価対象としているため、会社法よりも踏み込んで対象としています。

内部統制システムを構築する義務と責任を経営者が負う時代が到来したと言えます。日本取締役協会では、同協会会員の上場企業を対象に内部統制に関するアンケート調査を実施しました。以下、調査結果をもとに書きます。

(1) 内部統制を統括する部門を設置したい

会社法での内部統制対応は、既存の法務部が実施して済ませるケースが多くみられました。ところが、金融商品取引法の内部統制報告制度の対応に関しては、新たに内部統制統括部門を設置する必要に迫られています。



TAC株式会社
代表取締役社長（CEO）

斎藤 博明

Saito Hiroaki

(2) 統制環境と経営理念との関係

内部統制の最重要の基本的要素は統制環境です。成長を続ける企業の多くは、経営理念や会社方針、行動基準を明文化し、具体的なリスクマネジメント基本方針やコンプライアンス基本方針を定めています。このような経営理念による経営を行う企業は、統制環境が極めて優れています。

(3) 現在の懸念材料は専門人材の不足

人員不足、専門的な知識を有する社員不足を現在の懸念材料に掲げる企業が最も多く68%に及んでいます。実施基準は「経営者を補助して評価を実施する部署及び機関並びにその要因」について「評価に必要な能力を有していること、すなわち、内部統制の設備及びその評価業務に精通していること、評価の方法及び手続を十分に理解し適切な判断力を有する」専門的な知識を持つ人材を求めています。そうした人材はまだ採用されていないため、企業の最大の悩みとなっています。

※参考図書：『内部統制の責任と現状』（日本取締役協会編）



CIA

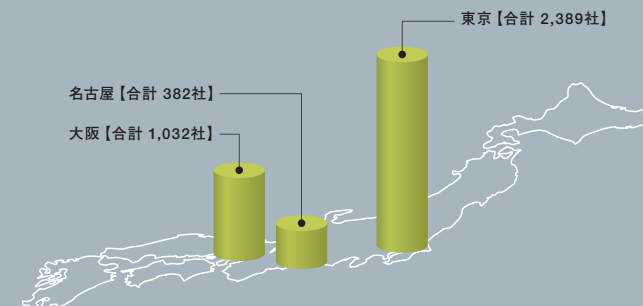
Certified Internal Auditor

公認内部監査人

内部監査の専門性を証明するCIA（Certified Internal Auditor）は、内部監査に関する指導的役割を担っている内部監査協会（IIA）が認定する唯一の国際資格です！

Data Base 1

内部統制報告制度の対象となる上場企業数
【東京・大阪・名古屋 合計 3,803社】

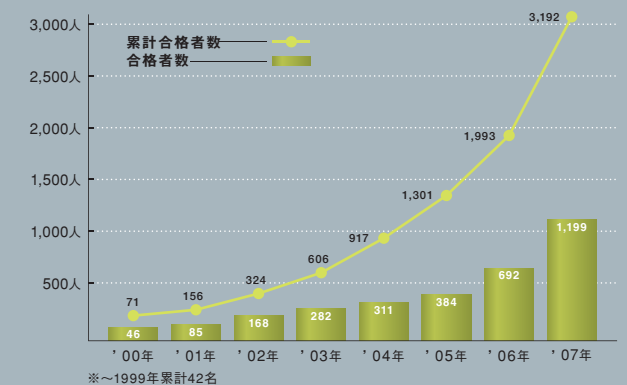


取引所名	一部	二部	新興市場	合計
東京証券取引所	1,729社	462社	マザーズ 198社	2,389社
大阪証券取引所	622社	240社	ヘラクレス 170社	1,032社
名古屋証券取引所	240社	112社	セントレックス 30社	382社

※上場会社数は2009年2月6日現在

Data Base 2

CIA試験 累計合格者数・合格者数



CONTENTS 2009-2010 LICENSE GUIDE

CIAの魅力とその可能性	P2
CIA実務家インタビュー	P4
試験制度・継続教育制度（CPE）	P8
合格者体験記	P10
合格への提案	P14
（プロフェッショナル講師陣・科目内容と学習のポイント）	
短期合格へ導くオリジナル教材	P16

戦略的カリキュラム	P18
学習メディア&特典・フォロー制度（通学・通信）	P20
コース案内	P22
日程表	P24
受講料一覧	P26
申込方法・教育ローン	P28
申込規約	P29

CIA資格取得者は、いま多くの企業で求められているのです。



CIAの魅力とその可能性

CIA試験が開始された背景

CIAとは、内部監査人に関する唯一の国際的な資格であり、CIA資格認定試験に合格し、実務経験等の要件を満たした者に授与される称号です。CIA資格認定試験は、内部監査人の能力の証明と向上を目的とした世界水準の認定制度で、世界約80ヵ国で同時に実施されています。

企業を取り巻く経営環境が日々激変する中、近年、内部統制・内部監査の重要性が認識されるようになり、内部監査人の能力の証明に対する要求が高まりました。こうした状況から、CIAは業務に精通したプロフェッショナルとして、経営者の信頼を得て、21世紀のグローバル社会を勝ち抜くための、最良の資格といえます。



CIAを取り巻く環境（世界の動向）

金融、商社、電気機器、保険、エネルギー、サービスなど、世界各国のあらゆる分野で約70,000人のCIAが活躍しています。各国特有の規制過多、信用リスク不安、底の見えない金融デリバティブ商品、変動する商品リスク、金利リスク等、企業のリスク統括責任者（CRO）を悩ますさまざまな障壁が存在し、利潤追求と社会的責任（CSR）を負う企業のリスクマネジメントはますます混迷を深めています。CIAはそうした企業を取り巻くあらゆる環境の変化に敏感に反応し、その専門性に磨きをかけなくてはなりません。リスクへの対応の有効性をどう評価するかについて、内部監査のネットワークやセミナー、研究会等を通じて、その技術と専門性の向上に励むことも必要です。世界を覆う金融不安、増幅する経営リスクの変化に伴い、CIAはその経営基盤を支える内部統制の仕組みづくりができる専門家として期待されているのです。

CIAの役割と求められるスキル

内部監査の業務に品質があることはあまり知られていません。品質が保証されない内部監査は、コストがかさむだけで期待する効果は得られないのです。内部監査を実施する上で、基本的な監査技術や専門的な知識が必要なことは当然ですが、今、世界の主流は“リスクアプローチ”です。業務に潜むリスクの分析、工夫を凝らした監査プログラム、リスクに焦点を当てた監査プロセスなど、実務経験のみでは決して蓄えることのできない高度な理論の素地が必要となります。説得力のある判断や有効な評価はCIAの特長であり、会社法が定める内部統制の整備、金融商品取引法が求める財務報告に係わるコントロールの有効性評価などCIAへの期待は高まっています。その分、CIAには内部監査の品質を常に意識し、自身の専門領域や監査スキルの向上に不断の研鑽が求められているのです。

CIAの魅力及び今後の展望

日本のCIA試験合格者は2003年以降急増し、累計で3,200名を超え、その人気は高まるばかりですが、現状をみますと内部監査業務に携わる現役CIAの絶対数は不足しています。海外と比べて内部監査のプロが少ない我が国では、CIA資格を持つ実務経験者は貴重です。職業としての内部監査人が社会で認知され、内部統制の牽制機能を担う内部監査が企業に根づくにはCIA資格の保有が必須の要件となるでしょう。また、CIAが持つリスクを嗅ぎ分ける感性やリスクに対するコントロールの有効性の視点は、経営管理やコンプライアンスなど現場の管理にも有用です。先進的な企業ではそうした業務分野の人間にCIA資格取得を推奨しています。CIAの存在は、企業の内部監査の品質を維持するための道標（みちしるべ）となり、内部統制の重要な骨組みとなります。そして、CIAは内部監査の新しい時代を築く先駆者であり、その忠実な職務を通じて企業社会の重要な役割の担い手となることが期待されているのです。





CIA実務家インタビュー

資格取得はあくまでスタート。 真のゴールは内部監査のプロになることです。

◇CIAは専門性を証明する称号

——まず、近藤先生がCIAをめざそうと思われたキッカケからお聞かせください。

近藤：私がCIA資格を取得したのは2004年ですが、内部監査職としてのキャリアをスタートさせたのは1997年でした。当時さくら銀行（現三井住友銀行）に在籍し、ニューヨーク米州監査部門の立ち上げのために渡米しました。私自身は、それ迄ニューヨーク支店で8年勤務したものの、FRBや州銀行局などの監査や日銀考査を受ける立場で、監査業務の経験はありませんでした。現地にはマネジャーを含め15名程の米人スタッフがあり、ほぼ全員豊富な経験を積んだ内部監査のプロフェッショナルでした。彼らと共に監査業務に従事した2年間は驚きと闘いの日々でしたね。その経験を通してリスク中心の内部監査やプロの監査技術を学ぶことができ、何より、内部監査人という職業が存在するということが私に大きなインパクトを与えました。それが2002年に銀行を退職して、内部監査を天職にしようと決意するキッカケでした。

——CIA資格を取得することのメリットは何でしょうか？

近藤：独立当初、海外での監査業務経験に裏づけられた専門性の高さが自分の特長だと自負していましたが、日本では資格の有無を重視する傾向があるため、私もCIA取得に挑戦することになりました。CIA資格は内部監査の専門性を証明する称号になりますし、いまでは企業経営者の認知度も高く、国内外を問わず雇用チャンスが増えます。特に、内部監査の専門用語は世界共通で、海外のCIAたちとコミュニケーションを取ることができます。日本内部監査協会などの組織を通して専門的なネットワークを構築することもメリットの1つでしょう。



——CIAにはどんな能力が求められるのでしょうか？

近藤：内部監査は内部統制の有効性を評価し改善するのが仕事です。評価の過程ではリスクの分析や判断力、また最後の監査調書や報告書作成の段階では書く技術(writing skill)が求められます。結構この部分で苦勞される人が多いですね。しかし欠かすことのできないのは、指摘内容や監査結果に対する経営者や現場管理者からのナゼ？に答える説明力および表現力です。内部監査に説明力は必須の要件です。また、監査ではどんな業種、どんな企業にも対応できる応用力も必要ですね。内部監査に関する基本を会社の社風や理念にうまく同化させて監査を行えることが大切なのです。私の場合、米国で監査のプロセスや基本的な技術をしっかり身につけたことが大きなプラスになりました。

◇プロの内部監査人が求められる時代

——CIAの将来性についてお聞かせください。

近藤：現在、日本のCIA資格取得者は累計で3,200名を超えています。実際の監査業務に携わる現役のCIAは恐らく1,000名に満たないでしょう。一方、日本版SOX法の対応が義務づけられている上場企業数は約3,900社。CIAの絶対数はまだまだ不足しています。また、CIAの能力レベルでもアジア圏のシンガポールや香港に追いついていません。つまり、CIAの質・量ともに日本はまだ発展段階にあり、職業としての成長性・成功性は非常に高いと言えるでしょう。

——これからCIA資格取得をめざす人たちに、受験アドバイスとメッセージをお願いいたします。

近藤：CIA試験の合格率は20%に満たず、決して易しい試験ではありません。合格への近道は、やはりTACなどの資格学校の講座で学ぶのが効率的でしょう。もう1つ大切なのは、一緒に学ぶ仲間を作ることです。お互いの得意分野を教え合うなど協力して学ぶことで、学習のモチベーションを維持することができます。そして、勘違いをしてはいけないのは、CIA試験に合格することは目的ではないということ。真の目的は専門的な理論を内部監査の実務に活かすことです。相次ぐ企業不祥事や金融不安によって、今、時代はプロの内部監査人を求めています。その点、CIA試験の問題はケース・スタディが中心で、試験勉強自体が実務のための絶好のトレーニングになります。私のCIAセミナーにも最近は20代・30代の参加者が見られますが、そういう若い人たちには資格を取得するだけで満足せず、もう一步飛躍して本物のプロになって欲しいですね。そして、内部監査の意義やCIAの価値をメッセージとして国内外に発信できる人材に育ってくれることを心から願っています。



近藤 利昭さん Toshiaki Kondo

アイ・イー・アーク コンサルティング株式会社
代表取締役

CIA（公認内部監査人）
CCSA（内部統制評価指導士）
CFE（公認不正検査士）

TACの継続教育制度（CPE）
担当講師です！

※詳細は9ページをご覧ください。





CIA実務家インタビュー 2

私は知らないうちに
“宝物”を手にしていました。

佐伯 政徳さん Masanori Saeki
株式会社 エトロ ジャパン CFO
CIA (公認内部監査人)
U.S.CPA (米国公認会計士)

●私がCIAの取得を目指したキッカケ

素朴な疑問というのは、誰でも持っているはずです。「あれっ、これは変だな?」という疑問や「そんなことをやっていて大丈夫なの?」という危機感。そういう思いを少しでも持っている方は、きっとCIAに向いていると思います。CIAというのは極端に言えば誰でも持っていて良い知識ですから、CIAはほとんどの方にお奨めの資格だということを冒頭で申し上げておきたいと思います。

私がCIA試験にチャレンジしようと思ったのは、「自分に向いている」と感じたことと、CIAの将来性、そして経理財務の限界です。会計基準というのは会計士や経理担当が知っている世界なのに対して、内部統制は様々な現場に踏み込んで行って、現場の理解や共感を得ながら作り込む世界です。その違いが、私の目には非常に新鮮に映ったということです。

●これからCIAを目指す方へのメッセージ

まずお伝えしたいのは、経理財務のスキルはやはり身につけたほうがキャリアアップになるということです。会社は経営の数値を投資家に見せるのがひとつの役割になりますから、数字に対する責任は非常に重いものです。その責任の懷に入る際に経理財務のスキルを持っていると、強いキャリアフレームになります。もうひとつは、コーチングのスキルを身につけるのがお奨めです。コーチングには、相手のターゲットにうまく導いてあげるとい役割がありますが、これを内部監査のコミュニケーションに応用すると、現場の声を拾いやすくなったり、たとえ衝突があっても流せる余裕が出てきます。この“流せる余裕”、つまり懷の深さが実は大切なのです。この2つのスキルを身につけることで、さらなるキャリアの飛躍が期待できます。

M&Aはこれまで以上の勢いで増加し、日本でも内部統制は当たり前の時代になりました。企業もクロスボーダー化し、これからますます多様な動きがあり得ます。そんな中、CIAはその冷静な視点で会社を見ることができるとエキスパートであり、企業価値を上げることができる有効な資格とも言えます。私はたまたまキッカケがあってCIAの資格を取りましたが、知らないうちに「宝物を取った」と思っています。もし、あなたが「積極的な人生を得よう」と思うのであれば、CIAはチャレンジして絶対に損はない資格だと私は断言します。

世の中に“コントロールのプロ”は、
なかなかいません。

高瀬 浩幸さん Hiroyuki Takase
大手総合電機メーカー 内部監査部門勤務
CIA (公認内部監査人)

●CIAの資格を取って転職する可能性

内部監査部門として社内でキャリアアップを図っていくことも魅力的ですが、最近の転職市場では、多くの企業で金融商品取引法による内部統制監査に対応した人材を求めていることから、他社でキャリアアップを図っていくことも選択肢の1つとして挙げられます。コントロールの専門家であるCIA資格取得者かつ実務経験がある人材は、今までになく歓迎されることは確かで、確実にグローバルに活躍できるフィールドが広がってきています。

最近では、情報セキュリティ監査を行っている人もCIA資格を取得し、内部監査全般の知識をつけて仕事の幅を広げています。ITと内部監査に精通している人材は社内にとどまらず、他の会社にとっても魅力的であり、さらに大きな仕事をするためのキャリアアップも図れます。

●これからCIA試験を受ける方、受けようと考えている方へ

●内部監査という仕事

内部監査部門というと、一昔前は、地味で軽視され、会社のお荷物的存在の部署でしたが、昨今の経営を巡る環境変化の中で大きく様変わりしています。確かに、今でも会計不正に対するリスクが高いことから会計監査に重点が置かれていますが、従来の単なる指摘から「業務の効率性」に対するプロセス改善提案を助言するなど、コンサルティングの業務も増えています。内部監査は外部監査と違い、会社の内情をよく理解していることの強みを活かし、経営に役立つ監査を目指すなど経営陣の期待も年々大きくなっています。

世の中に経営のプロはいますが、コントロールのプロはなかなかいません。CIAはコントロールの専門家です。CIA資格は、内部統制に対する経営陣の意識の高まりから今後ますます脚光を浴び、一目置かれる資格になること間違いなしです。また、内部監査部門が社長直轄の部署として位置づけられている会社も多く、成果が会社の経営に直結するため、やり甲斐も大きいです。しかし、その一方で責任や期待も年々大きくなっているのも事実です。ダイナミックな仕事をしたい方には、うってつけの部署といえます。





試験制度・継続教育制度 (CPE)

●資格認定条件…CIA資格認定には、次の資格認定条件が必要です。

- (1) 教育要件：以下のいずれかに該当すること（受験申込み時に最終学歴の卒業証明書を提出）
 1. 四年制大学の卒業の方
 2. 大学・大学院の在学学生（大学の場合、3年生以上）
 3. 大学・大学院の教員
 4. 上記1.2.3の要件に該当されない場合は、以下(3)の実務経験1あるいは2において、2年以上を満たしている方。（この場合は、申込み時に実務経験証明書の提出が必要となります。）
- (2) 推薦（受験申込み時、または全4Part合格後に推薦状を提出）
CIA、CCSA（内部統制評価指導士）、CFSA（公認金融監査人）などの認定資格の保持者または上司等による「推薦状」を、受験申込み時、または全Part合格後に提出しなければなりません。
- (3) 実務経験（受験申込み時、または要件を満たした時点で証明書を提出）
CIAとして認定されるためには、全Partに合格した方のうち
 1. 内部監査・監査役監査・外部監査・品質評価・リスクマネジメント・コンプライアンス・内部統制にかかわる業務のいずれかの実務経験を2年以上お持ちの方。
 2. 会計・経理・法務・財務のいずれかの実務経験を2年以上お持ちの方。
 3. 会計・法律・財務・経営に関する修士取得者は実務経験1年分に充当されます。
 4. 監査・会計・財務・法務に関する4年以上の教職経験は、実務経験2年分に充当されます。

(1) 教育要件を満たせば、受験は可能です。
※(2) 推薦と(3) 実務経験はCIAとして認定されるために必要な条件です。

●試験概要…CIA試験は、次の4科目から構成される、科目合格制です。

科目	トピックアウトライン	出題割合
Part I ガバナンス、リスク、コントロールにおける内部監査の役割	A. IIA属性基準の遵守 15～25% B. 内部監査業務の優先順位付けのためにリスクベースの計画策定 15～25% C. 組織のガバナンスにおける内部監査部門の役割の理解 10～20% D. 内部監査のその他の役割と責任 0～10% E. ガバナンス、リスク、コントロールに関する知識 15～25% F. 監査計画 15～25%	
Part II 内部監査の実施	A. 監査の実施 25～35% B. 個別業務の実施 25～35% C. 監査結果のモニタリング 5～15% D. 不正の知識 5～15% E. 監査ツール 15～25%	
Part III ビジネス分析と情報技術 (IT)	A. ビジネスプロセス 15～25% B. 財務会計と財務 15～25% C. 管理会計 10～20% D. 規制、法律、経済 5～15% E. 情報技術 (IT) 30～40%	
Part IV ビジネス・マネジメント・スキル	A. 戦略的マネジメント 20～30% B. グローバルビジネス環境 15～25% C. 組織行動 20～30% D. マネジメント・スキル 20～30% E. 交渉 5～15%	

※問題は世界共通の内容です。

□試験方式…コンピュータ・ベース・テスト (CBT)

- ※試験は、試験会場に備えられたパソコンにより出題・解答の全てが行われます。
- ※受験者が電卓を持参することは出来ません。パソコンの電卓機能を使用します。

□出題形式…四択択一式

□出題数…各Part共100問

□試験時間…各Part共2時間45分

□受験言語…日本語または英語

- ※日本国内での受験については、日本語または英語から選択できますが、一度の受験で選択出来る言語はどちらか一方だけとなります。

□試験結果

採点は、Partごとに行い、得点は250から750ポイントのスケールスコアに換算されます。合格ラインは各Part共600ポイント以上です。

※合格率は各Part共35～40%と予想されます（コンピュータ・ベース・テストへ移行する前のデータです）。

□合格Partの有効期間

各Partの合格については、1Part以上に合格後、2年以内に他のPartを受験しなければ、既に合格したPartは無効となります。しかし、この間に受験した場合は、既に合格しているPartについても、最後に受験した年分から更に2年間有効となります。

●免除科目

Part IVの受験については、以下の資格保持者に免除の特典があります。

公認会計士、U.S.CPA (Certificate取得者)、QIA (内部監査士)、CCSA (内部統制評価指導士)、CFSA (公認金融監査人)、AICPA、CISA 等

※上記の資格は一例です。詳細は日本内部監査協会ホームページでご確認ください。

●受験費用

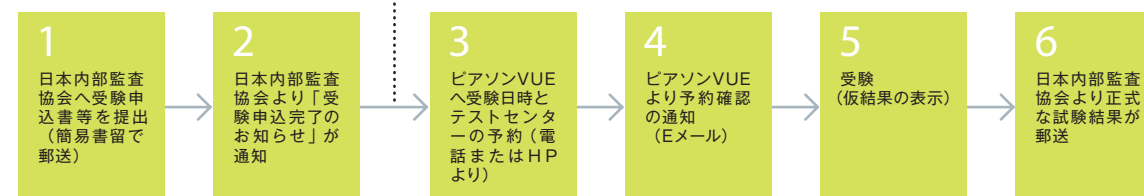
受験者区分 A：一般（学生・教員以外の方） B：大学／大学院の教員・学生（初回受験時のみ）

登録料（初回受験時のみ）	各Part受験料（各Part共通）	Part IV試験免除の場合の管理費
A：¥8,400 B：¥4,200	A：¥17,850 B：¥11,550	A：¥17,850 B：¥11,550

※大学／大学院の教員・学生には上記のように受験料の優待制度がありますが、初回受験時のみの適用となります。

●受験の手続

→ 申込みから認定までの流れ



ポイント1 ⇒ 日本内部監査協会への申込み完了後、テストセンターへの予約が必要！

ポイント2 ⇒ 日本での受験受付後、米国IIA本部にて登録を行います。世界各国からの登録がありますので、登録完了の通知まで約4週間前後かかります。

□試験会場…ピアソンVUEが認定するテストセンター（札幌市、宮城県、東京都、横浜市、名古屋市、大阪市、福岡市、那覇市）

□試験日…通年でPartごとに受験が可能
(テストセンターによって営業日が異なるためピアソンVUEのホームページ <http://www.pearsonvue.com/japan> でご確認ください。)

□試験結果…試験終了後に、コンピュータ上に仮の試験結果が表示。その後、IIA本部より正式な試験結果が発行。

□受験日…通年で受験が可能となり、受験申込みの締切日の設定はありません。申込みされた複数のPartを同じ日に予約し受験することも可能です。また、それぞれのPartを違う日に予約し受験することも可能です。なお試験日から90日間は同一Partの受験はできません。

継続教育制度 (CPE)

継続教育制度 (Continuing Professional Education / 以下CPE) とは、CIAがその称号を得た後も、常に専門職として相応しい能力・知識の開発を継続し、それらの称号を維持するに値することを証明することを目的とした制度です。内部監査実務に従事しているCIAの場合、2年毎に80CPE単位の取得が必要となります。

尚、CPE単位を取得しなかった場合でも、試験合格の結果に影響はありません。

□CPEの対象となる活動

日本内部監査協会や他の公共団体・企業等が主催する正式な研修等に参加すると、単位を取得する事が出来ます。他にもCPEの対象となる活動がカテゴリ別に分類されており、カテゴリにより単位の上限が決まっています。

※CPEの対象となる活動の詳細は、日本内部監査協会にてご確認ください。

□有料公開セミナー【継続教育制度 (CPE) 認定プログラム】

TACのCPEはクオリティーが違います。皆さんもCIA実務の最先端情報の収集に、是非ご参加ください。

	タイトル	講師名	日程	CPE単位
第1回	内部統制と内部監査、その共通点とアカウントビリティ	近藤利昭 (CIA実務家)	2009年 7月 4日 (土) 10:00～12:30	3
第2回	リスクアプローチ監査の心髄		2009年11月28日 (土) 10:00～12:30	3
第3回	不正行為と内部監査		2010年 4月 3日 (土) 10:00～12:30	3

★3回分一括申込みの場合、講師著書「内部監査を活かす術（金融財政事情研究会発行）」を贈呈いたします。

□開講地区…渋谷校

□受講料一覧 (クラスNo.L1)

コースNo.	コース名	通常受講料 (5%税込)
109-001	①②③一括申込	¥25,000円
109-002	①内部統制と内部監査、その共通点とアカウントビリティ	¥10,000円
109-003	②リスクアプローチ監査の心髄	¥10,000円
109-004	③不正行為と内部監査	¥10,000円

TACのCPE
スタート!

CIA資格の試験制度・継続教育制度の詳細は、
日本内部監査協会ホームページ・資格認定制度 (<http://www.iiajapan.com/system/>) でご確認ください。



合格者体験記 TACでよかった！ TACだから合格できた！

CIA試験合格者が語る
TAC講座の魅力とは？

Message from Winners

教えてください！私が合格できた理由。

企業の内部統制・内部監査の重要度が認知されるにつれて、人気急上昇中のCIA資格。その試験は学習領域が幅広く、短期合格には効率的・効果的な学習が不可欠です。それを可能にしたTAC講座のさまざまな魅力について、実際に合格を手にした受講生の方々に証言していただきます。 (五十音順)



打田 昌行さん



一科目ずつ合格することで
自然とやる気も湧いてくる！

私は通信講座を受講して、仕事と勉強を両立するための時間を捻出することに最大の配慮を払いました。そして、授業は集中して聴き、繰り返して聴かない、問題集は常に携帯してわずかな時間を見つけては、1日30題をコンスタントにこなす、問題集の正解に至る説明文を丹念に読み解いて出題の狙いを理解する、余分な問題集を購入しないなど、自分なりの学習方法で取り組みました。休日は仕事の疲れが蓄積して、なかなかテキストに手が伸びませんが、一科目ずつ合格していくと自然とやる気も湧いてきます。CIA試験は一科目ずつ受験ができ、自分の学習進度に合わせて受験日も選択できるので、短期合格が可能だと思います。これからもTAC講座を通して、より多くの方が合格の栄冠を手に入れることを願っています。

熊倉 茂さん



内部監査人になったつもりで
楽しみながら学ぼう！

TACにはU.S.CPA取得の際にお世話になりました。講師の方々が皆、ハイグレードであることは一度でも講義を聴けば実感できるはず。多忙なビジネスマンにとって複数の受講形態を選択できることも大きなメリットです。CIA合格の秘訣は、1つのトピックについて経営者の立場、内部監査人の立場、一般従業員の立場など、複数の視点で考える習慣を身につけること。また、実務経験のない人は内部監査人になったつもりで勉強すると、楽しく乗り切ることができると思います。そして、すべての資格試験に共通するかもしれませんが、絶対あきらめないという強い心が不可欠です。その点、TACは合格レベルまで効率良く到達させるノウハウはさすがだと思います。自信を持って他の受験生におススメしたいですね。

奥本 久治さん



早く自分の弱点を知って
それを修正することが大切！

私は64歳という年齢で40年間も学校から遠ざかっていたので、教室で講義を受けることがとても新鮮で楽しく感じられました。受講形態も教室だけでなく、有料でDVD受講もできるので時間の制約を受けずに学習を進めることができました。講師の方々はそれぞれ個性があり、各人が一生懸命に講義してくださったことに満足しています。特に、私の弱点でもあった会計関連、IT関連は分かりやすく、かなり弱点をカバーできて自信を持つことができました。PartⅢの試験を1回で合格できたことは私にとって奇跡に近く、とても感謝しています。合格の秘訣は、自分に身につけている知識や考え方の弱点を知り、それを1つずつ修正することだと思います。私も同じ問題を何回も間違える腹立たしさが学習の刺激になりました。

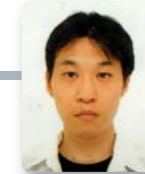
中島 宏宜さん



DVDでスケジュールを
意識せず無理なく学べる！

勤務先の社長から「内部統制を行って欲しい」という指示があり、文献を読んだりしましたが理解しづらいことが多く、試験勉強を通じて体系的に学びたいと思いました。私は以前にTACで簿記1級の学習をした時と同様にDVD通信講座を受講しましたが、CIA試験は範囲が広く、かつ抽象的な内容が多いので、まずはDVDで講義をしっかり視聴しました。DVDは定期的に届きますので、自分でスケジュールを意識しなくても無理なく学習を進めることができました。あとは、問題集をひたすら繰り返して解き、正解不正解にかかわらず解説をしっかりと読んで勝手な解釈・理解がないように努めました。TACの講座の場合、他にあれこれ教材を買ったり読んだりする必要がなく、学習に集中できたことが良かったです。

西ヶ塙 潤也さん



合格した自分をイメージして
ゲーム感覚で取り組んだ！

CIA試験の学習に臨むにあたって、最重要視したのは「無理なく継続できること」でした。合格に必要な勉強量と受験予定日までの日数から1日の勉強量を割り出し、それが消化しきれないと思ったら受験予定日をずらすようにしました。「やれば受かる。やらなければ落ちる。選ぶのは自分」と言い聞かせて。また、CIA試験に合格した自分をイメージして、知識を獲得して成長していくゲームだという感覚で学習に取り組むようにしました。幸い、TACのDVD講義と携帯式問題集は私のマイペースな学習スタイルと相性が良く、おかげで1回目の受験で全科目合格することができました。CIAはまだ認知度が低い資格ですが、これから社会的なニーズは高まっていくはずで、いち早くその資格を手にかけて満足しています。

藤井 尋教さん



見たことのない問題にも
あわせて対応できた！

会社で株式公開準備業務に携わっており、有効な内部監査を実施するための専門知識を身につけたいと思い、CIA資格にチャレンジしました。TACの講義では、講師の方々がCIA試験の“解答のコツ”をたびたび教えてくださいましたので、それを聞き漏らさずに自分のスキルとして磨き上げていきました。その上でTACの問題集を何度も繰り返し解くことにより、解答を選ぶ明確な理由を考えながら問題を解く習慣が付き、本試験において見たことがない問題が出題されてもあわせて解答することができました。CIA試験は一般論では解答するのが難しい問題もありますが、TACの教材をコツコツと読みこなせば必ず合格できます。通勤時間や休日を有効に使って効率的に学習し、しっかりと考える力を養ってください。

松橋 渉さん



独学からTAC講座に
切り替えて大正解でした！

私の場合、まず独学で学習をスタートしましたが、カバーすべき学習範囲が広いという点と、ポイントがつかみづらいことから、TAC講座の受講に切り替えました。TACには以前、FP資格取得の際にお世話になり、講義やテキスト・問題集がしっかりしていることを知っていました。CIA講座でも講義はポイントを過不足なく網羅しており、カバーすべきエリアが非常に広いCIA試験では本当に助かりました。また、平日にまとまった学習時間がとれなかった私にとって、週末にまとめて気持ちを集中して講義を受けられるビデオ講座はとてありがたかったです。私が受験準備を開始してから取得まで1年強かかりましたが、独学をせず最初からTACの講座で学んでいればもっと早く効果的に取得できたと思っています。

花澤 信二さん



本試験でTACの問題集と
同じ問題が出題された！

TACを選んだのは、これまでも簿記やAFPなどの資格取得の際にTACの通信講座を利用しており、教材の使いやすさや講座の信頼度が分かっていたからです。私は通信講座でしたので、基本的な学習方法はテキストを1回ざっと読み通した後、DVDを視聴し、その上で問題演習を繰り返すというものでした。問題集の反復演習は4回行い、1問あたり1分以内で解答することを目標としました。4科目全体の学習期間は半年ほどでしたが、TACの教材は必要な論点がコンパクトにまとめられており、特に問題集は問題量・解説とも十分なボリュームで、本試験でもTACの問題集と同じ問題や一部の数字を変えただけの類題がかなり出題されました。問題演習をしっかりと行えば、本試験では90%以上の得点を得られるはずだと思います。

匿名希望さん

DVD講座は学習時間の
少ない人にオススメ！

自分自身のスキルアップのためにCIA資格に挑戦したいと思っていた時、会計士試験などで実績のあるTACがCIA講座を始めると聞き、説明会に参加して申し込みを決めました。私の場合、平日は仕事であまり学習時間が取れなかったため、DVD通信講座があることもTACを選んだ理由の1つでした。DVDでの学習では、再生速度を変更できるソフトを使って4倍速程度で視聴して時間を節約し、授業を一通り視聴した後は問題集を3回以上繰り返し解いて理解度を深めました。特に、カード式の問題集は電車やバスの中でも見ることができるので、時間のない人にはとても便利です。CIA試験では、監査会計やシステム関連の仕事をしている方は実務経験が役立つと思います。ぜひ、多くの方に挑戦して欲しいですね。

三浦 功さん



家族の理解と協力を
得ることが合格への近道！

銀行勤務で監査部門に配属された経験があり、何より「内部統制」に強い興味があったことがCIA受験のきっかけでした。私はDVD講座を受講しましたが、並行して生講座も受講できる点に非常に感謝しています。富山県に住んでいますが、月1回上京して生講義を受け、同じ目標に向かって勉強している仲間たちの顔を見ただけでも、とても良い刺激になりました。また、学習を継続するには家族の理解が第一です。妻は理解してくれて、小中学生の子どもに理解させるのは難しく、土日の休日のうち昼間半日と夜一回は家族との時間と決め、残された時間で勉強スケジュールを立てました。家族を犠牲にして資格を取得しても、自分の将来には何の糧にもならないと自分に言い聞かせるようにして乗り切りました。



山道 昌雄さん

転職のための限られた
学習期間で合格に到達！

転職先の幅を広げたいと思い、CIA試験にチャレンジしました。転職のために学習期間を限定せざるを得なかったため、可能な限り毎日一定の勉強時間を確保することに決め、まずテキストをできるだけ早いスピードで1回だけ精読し、分からない用語などはインターネットで検索して理解するように努めました。問題集は1回目は時間がかかっても自分の頭で考えて解答し、間違えた問題のみ2回・3回と解答時間を意識しながらやり直しました。TACの教材はテキスト、カード式問題集、講義内容のレジュメなど、学習のポイントをつかむのにとても役立ったと思います。また、モチベーションを維持すること、必ず1回で合格するという意識を持つことを心がけ、3ヵ月という短期間で3科目に合格することができました。

匿名希望さん

自習室を利用して
真夏でも快適に学習できた！

TACのDVD通信講座は好きな時間に学習できるのが良いですね。単に講師による講義の映像だけでなく、補助資料や図表などのプレゼンテーションが合間に入っているため飽きないで効果的に学びました。ただ、勉強しようという意志がないと、アツという間に送られてきたDVDの山ができてしまうでしょう。また、水道橋校の自習室は真夏の暑い時期でも快適に勉強できるので、頻繁に利用させてもらいました。効果的な学習方法としては、とにかくTACの問題集をできるだけ多く解くことに尽きます。問題集は持ち運びに便利のように作られているので、出張の移動時間に勉強することができて重宝しました。一通り勉強するには半年ほど必要ですが、半年間真面目に勉強すれば必ず合格すると信じて取り組んでください。

学習経験者・受験経験者の方に最適！

～TACはあなたのさらなる飛躍をサポートいたします～

今、皆さんがお持ちの知識で狙える資格があります。その中の一つが公認内部監査人（CIA）です。CIA試験は全部で4科目。下記の資格の合格者はもちろんのこと、学習経験者・受験経験者の方は、CIA試験の科目によって、一部学習済みの論点もあります。従ってCIA資格へのチャレンジは非常に意義あるものとなるはず。是非、新たな資格取得にチャレンジしてみてください。

**合格者
割引制度有り！**
詳細は、27ページを
ご覧ください！

ダブルライセンスに
チャレンジ！！

各Partの主要論点	他資格の論点との重複状況		
公認内部監査人(CIA)	公認会計士・U.S.CPA	税理士	中小企業診断士
PartⅠ・Ⅱ【内部監査】	一部学習済み		
PartⅢ【財務会計・管理会計・経済】	一部学習済み	一部学習済み	一部学習済み
PartⅢ【情報技術(IT)】	一部学習済み		一部学習済み
PartⅣ【経営管理論】	一部学習済み★	学習しやすい	一部学習済み

★公認会計士・U.S.CPA(Certificate)の資格保持者はPartⅣの受験が免除となります。

CIA試験は、会計を中心とした学習論点の体系となっていますので、会計の知識を既に有していることは、受験にあたって大きなアドバンテージとなります。その優位性をフルに活かして、知識を拡充し、そして、短期合格を実現させましょう！

- ◆CIA試験の内容については、8・9ページをご覧ください。
- ◆CIA試験にご興味のある方は、無料講座説明会にお越しください。
- ※詳細は当パンフレット裏面をご覧ください。

※個人によっても知識のレベルに差がございますので、上記の資格試験対応表は一つの目安であることを予めご了承ください。

TAC 開講講座案内

「受講生をいかに短期合格に導くか」。

資格の学校TACは創立以来、常にこのテーマを追求しています。

CIA試験の特性と受講生ニーズに合わせたTAC独自の合格メソッド。

忙しいビジネスパーソンも無理なく合格を目指せる、

CIA試験対策コースを提供します。



INDEX

合格への提案 (プロフェッショナル講師陣・科目内容と学習のポイント) ……	P14
短期合格へ導くオリジナル教材 ……	P16
戦略的カリキュラム ……	P18
学習メディア&特典・フォロー制度(通学・通信) ……	P20
コース案内 ……	P22
日程表 ……	P24
受講料一覧 ……	P26



入会金と受講料の一部が戻って来る
教育訓練給付制度
指定講座申込受付中！

一定の要件をみたすと、

[入会金・受講料]の20%が支給されます！

TACが開講するCIA講座には
「教育訓練給付制度」指定講座が含まれます。

詳しくは最終ページをご覧ください。



合格への提案

ここでは、さらに各科目の内容 と学習のポイントについて解説します。

TACが選ばれる理由 1 プロフェッショナル講師陣

TACの講師はCIAの実務家や各分野のプロフェッショナルが講義を担当しています。

学習のポイントを押さえたら、いよいよ学習開始。TACの講師が皆様をサポートいたします。

大隈 慎吾 (おおくま しんご)



企業に厳格な内部統制を求める社会の声はますます強くなってきています。それだけに、CIAは今後ますます重要な資格になっていくでしょう。皆さんが必ず合格できるよう、私達TAC講師一同は全力で応援します！

栗原 正樹 (くりはら まさき)



現在、企業は環境変化の大きな波の中にあり、企業はこの波を乗り越えるため、新しい業務の仕組みを求めています。内部監査人は、まさに企業及び時代に求められる職業であると言えるでしょう。企業の、そして皆さんの更なる飛躍のために一緒に頑張りましょう。

二瓶 豊 (にへい ゆたか)



CIA試験は、学習範囲がとても広い試験です。しかし、問題は択一方式のみですので、論述問題もある試験に比べて受け易くなっています。広い知識を持つことで、将来の内部監査業務に必ず役立ちますので、将来を見据えて勉強していきましょう！

三堀 秀峰 (みつほり ひでたか)



会計の本質を理解するためには、具体的なイメージを持つことが大切です。TACのカリキュラムは初学者の方にとっても効率的に理解できるようになっています。短期合格を目指して一緒に頑張っていきましょう。

◆各科目の学習内容

科 目	トピックアウトライン	出題割合
Part I ガバナンス、リスク、コントロールにおける内部監査の役割	A. IIA属性基準の遵守 15~25% B. 内部監査業務の優先順位付けのためにリスクベースの計画策定 15~25% C. 組織のガバナンスにおける内部監査部門の役割の理解 10~20% D. 内部監査のその他の役割と責任 0~10% E. ガバナンス、リスク、コントロールに関する知識 15~25% F. 監査計画 15~25%	
Part II 内部監査の実施	A. 監査の実施 25~35% B. 個別業務の実施 25~35% C. 監査結果のモニタリング 5~15% D. 不正の知識 5~15% E. 監査ツール 15~25%	
Part III ビジネス分析と情報技術(IT)	A. ビジネスプロセス 15~25% B. 財務会計と財務 15~25% C. 管理会計 10~20% D. 規制、法律、経済 5~15% E. 情報技術(IT) 30~40%	
Part IV ビジネス・マネジメント・スキル	A. 戦略的マネジメント 20~30% B. グローバルビジネス環境 15~25% C. 組織行動 20~30% D. マネジメント・スキル 20~30% E. 交渉 5~15%	

※問題は世界共通の内容です。

◆TACのプロフェッショナル講師陣が教える科目別合格の秘訣

出題範囲が広い試験ですが、実務的かつ基本的な問題が多く出題されています。しかも問題はすべて択一式ですので、ヤマを張らずに、広く、浅く、まんべんなく学習することが合格の秘訣です。

講師が教える科目別の学習ポイント	
I	内部監査の規定集である「専門職の実施のフレームワーク」に基づいて、内部監査人の資質、内部監査の役割および監査計画といった内部監査の前提となる知識について学習します。学習にあたっては、規定をさまざまな角度から分析し、内部監査の前提となる諸条件を本質から理解することがポイントとなります。
II	内部監査の実施にあたって必要となる個別業務、監査結果、不正および監査ツールの具体的知識について学習します。ケーススタディーとなりますので、トレーニングを教材の中心に据えて、各問題のシーンにおける判断力を身につけていくことが学習のポイントとなります。特に「不正の知識」は重要論点となります。
III	内部監査にあたって必要となる周辺知識について学習します。会計、情報技術(IT)を中心に学習範囲が多岐に渡るため、すべてを完璧に理解しようとするのではなく、要点を押さえながら、応用力で問題に対応できるようにしていくことが学習のポイントとなります。
IV	経営戦略やコミュニケーションについて学習します。Part I~Part IIIが会社を内側から見る視点(イメージ)で学習するのに対して、Part IVは会社を外側から俯瞰する視点(イメージ)で学習することが重要となりますので、その視点の切り替えができるかどうか、学習のポイントとなります。



TACが選ばれる理由 2

短期合格へ導くオリジナル教材



Part I・Part II 規定集



Part I・II・III・IVテキスト



Part I・II・III・IVトレーニング



通信添削問題



講義DVD



CIA試験参考問題集2004

※教材の写真はイメージであり、デザインは変更される可能性があります。予めご了承ください。

使用教材について

- ◆Part I・Part IIの規定集は1冊にまとめられています。
 - ◆テキスト・トレーニングは各Partに1冊ずつとなります。
 - ◆通信添削問題は各Part全1回です。
 - ◆CIA試験参考問題集2004は4科目・3科目本科生申込み者のみとなります（単科生申込み者は対象外）。
- ※通学の場合は各校舎の受付で、通信の場合は初回の教材送付時に発送します。

1 Part I・Part II 規定集

完全収録!

規定集は、内部監査のバイブルである「専門職実施のフレームワーク」を、Part I・Part IIの学習に合わせて編集した教材です。規定集があることにより、Part I・Part IIの学習内容を集約することができます。また、規定の全体像や重要度を把握することで、有効かつ効率的な学習が可能となります。

3 トレーニング・Webトレーニング

大好評!

トレーニングは、CIA試験の過去問を編纂した、カード式の問題演習教材です。トレーニングの問題は、Webトレーニングとして、すべてWeb（パソコン）において演習することもできますので、問題の質・演習方式により、実戦的な学習が可能となります(各Part300問)。

- システム手帳サイズのカードスタイルなので、持ち運びにも便利です。
- 苦手な問題などを抜き出して、並び替えて学習を進めることが可能となる為、弱点の克服には最適です。
- Web上でもトレーニングの問題演習が可能です。しかも、受講期間内であれば、何回でもご利用いただけます。

※トレーニングには、バインダーは付属しておりません。TACで販売している「LICENCE BINDER (1冊400円)」または、市販されている「システム手帳リフィル保存用バインダー」等をご利用ください。

※Webトレーニングの動作環境は、TACホームページ (<http://www.tac-school.co.jp/>) 内のWEB SCHOOLページにて、ご確認ください。

2 テキスト

シラバス完全準拠

テキストは、論点のポイント解説教材です。テキストを論点のポイント解説教材とすることにより、シラバスの出題レベルに合わせて、常に論点のポイントにフォーカスした戦略的な学習が可能となります。また、学習上の要である専門用語を用語一覧として収録。用語の解説を確認することでスムーズに学習が進められます。

4 添削問題

各Partに添削問題が1回付いています。添削問題を通じて、基本知識の理解度をチェックすることができますので、ペースメーカーとしてもご利用ください。※添削問題はDVD通信講座のみとなります。

5 講義DVD

教室講座を生収録したDVDをお届けします。教室の臨場感あふれる講義をそのまま体験できます。※講義DVDはDVD通信講座のみとなります。

6 CIA試験参考問題集2004

本科生特典①

日本内部監査協会発行の参考問題集です。各設問は過去問または新規に作成された問題ですが、受験者が試験の傾向を知ることが出来るよう、設問の形式、長さ、内容について試験問題の見本となるものとなります。

※この問題集は、実際のCIA試験でどのような結果を得るかを保証するものではありません。

※CIA試験参考問題集2004は4科目・3科目本科生申込み者のみとなります。

それぞれの教材の相乗効果により、着実にレベルアップがはかれます!

TACでは、CIA試験対策で高い評価を得ている、米国「Powers Resources Corporation」より教材ノウハウの提供を受け、そこにTACの教材開発力を積み上げて、教材を制作しています。TACの教材は、CIA試験の出題内容（シラバス）にも完全準拠しています。

PRC

Powers Resources Corporation

<http://www.powersresources.com/>

◆テキスト解説



TACのテキストは日本内部監査協会のシラバス（試験の出題範囲の詳細）に完全準拠しています。論点タイトル・出題割合を記載しており、短期合格に必要な論点のポイント解説に重点をおいて開発したテキストです。図や表を重要ポイントのまとめとして、また本文の理解に役立つように適宜挿入しています。

◆用語一覧解説（テキストの巻末に掲載）



各Partのテキストの巻末には用語一覧が載っています。学習を進める上でわからない専門用語が出てきた場合には、用語一覧で確認することができますので、学習時間を効率的に活用することが出来ます。

◆トレーニング解説

過去問を徹底的に研究・分析し、受験にあたり、効果的な学習ができるよう作成した問題集です。その効果が最大限となるように、カードスタイルとなっています。



表面

裏面

カード1枚を1問（表面が問題、裏面が解答）とし、表面のページロゴで裏面の解答が透けて見えないように工夫されています。

会計学入門（Basic会計講座）・IT対策講座・Web答練（別途申込みが必要です）

TACでは、いくつかのサポートコースもラインナップしています。論点の基礎学習や弱点補強、問題演習用としてご利用ください。なお、会計学入門（Basic会計講座）・IT対策講座・Web答練は、本科生・単科生には含まれておりません。

◆会計学入門（Basic会計講座）

初めて会計を学習される方でも、Part IIIの講義を安心して受講していただけるように、会計学入門（Basic会計講座）では、財務会計・管理会計の基礎論点について、対策講義を行います。

※Part IIIの講義は、財務会計・管理会計の基礎知識をお持ちであることが前提となります（日商簿記2級レベル）。必要に応じて、会計学入門（Basic会計講座）をご受講ください。

※トレーニングには、過去問を100問収録しています。

◆IT対策講座

IT（情報技術）は、Part IIIにおいて出題割合の30%~40%を占めるとともに、Part I・Part IIでも出題される最重要論点です。IT対策講座では、この最重要論点について各Partの断片的知識を有機的に結合し、科目横断的に徹底したCIA試験対策を行います。

対象者

- ・IT（情報技術）の分野が苦手な方
- ・IT（情報技術）の知識を補強したい方

※必要に応じて、IT対策講座をご受講ください。

※トレーニングには、過去問を150問収録しています。

◆Web答練

Web答練は、Web（パソコン）において答案練習することができる模擬試験です。CIA試験と同形式で出題され、成績はレーダーチャート等で分析できますので、CIA試験の直前対策としてご利用ください。

※試験回数は各Part共に5回です（同じ答練を繰り返し実施することは出来ません）。

※各Part共に100題を2時間45分で解答していただけます（100題×5回＝500題）。

※ご自身の成績と解説がWeb上で確認できます（Web上からプリントアウトすることはできません）。

※各Partごとのお申込みとなります。





TACが選ばれる理由 3

戦略的カリキュラム

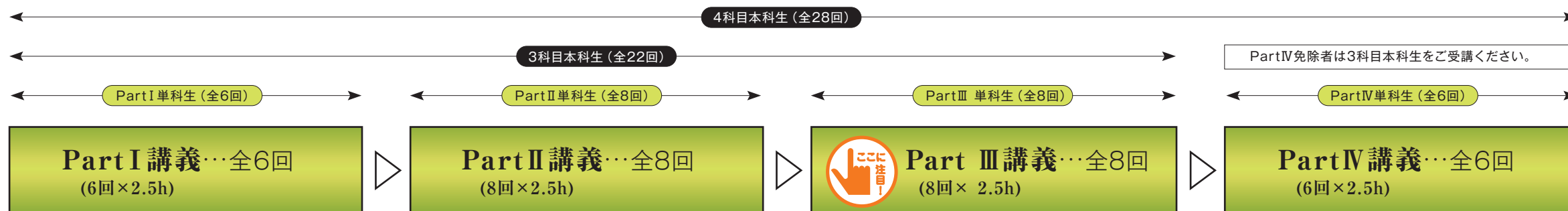
短期合格を目指すのはもちろんのこと、
内部統制に関する知識がないという初学者の方でも安心して学習できるカリキュラムです。

●CIA4科目本科生

CIA試験に向けて、全4科目の学習を効率的かつ効果的に進め合格を目指すのが「CIA4科目本科生」です。バランスのとれたカリキュラムと、コンパクトにまとめられたテキストが約4か月間という短い期間での合格を実現します。単科生でお申込みいただくのと比べて、約30%も割安な受講料でお申込みいただけます。

●CIA3科目本科生

公認会計士やU.S.CPA (Certificate取得者) といった資格保持者で、PartⅣが免除となる方向けのコースです。PartⅠ～Ⅲまでの学習を行います。



各Partの基本テキスト(各1冊)を使ってインプット

まずは、論点整理の見極めが重要!!

CIA試験は範囲が広く、全てをテキストに網羅しようとすると、辞書のような厚さになってしまいます。TACの基本テキストは、短期合格の為に、出題の可能性の高い論点を中心にまとめられています。

学習のリズムを作る講義
各Partで求められている知識は何か?意識しながらインプット

PartⅠ・Ⅱは規定集(1冊)が付いてきます

規定集は、内部監査のバイブルである「専門職的実施のフレームワーク」を、PartⅠ・PartⅡの学習に合わせて編集した教材です。規定集があることにより、PartⅠ・PartⅡの学習内容を集約することができます。また、規定の全体像や重要度を把握することで、効率的な学習が可能となります。

各Partのトレーニング(各1冊)を使ってアウトプット

トレーニングで過去の出題形式に慣れる!!

TACでは、トレーニング中心の学習方法をお勧めしています。CIA試験では、ケーススタディ中心の出題がなされる為、テキスト⇒トレーニングという学習の流れよりは、トレーニング⇒不明点をテキストで確認、という学習の流れの方が効率的だからです。

トレーニング

類似問題、ひねった問題に対応できるように、常に全体のイメージを意識してアウトプット

Web答練(別途申込みが必要です)

Web答練は、Web(パソコン)において答案練習することができる模擬試験です。CIA試験と同形式で出題され、成績はレーダーチャート等で分析できますので、CIA試験の直前対策としてご利用ください。

チェックポイント

⇒ トレーニングを繰り返し解くのは効果的な学習方法です。しかし、「トレーニングからの出題」であれば問題を覚えてしまえばいいのですが、過去問がベースのトレーニングであっても「出題される可能性がある」というだけのものですので、重要なのは、CIA試験に柔軟に対応できる能力を身につけることになります。問題の形式や問い方が変わっても解答を導き出せる力と論点の本質的な理解がポイントです。

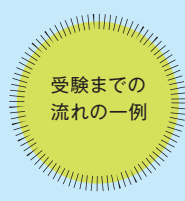
⇒ トレーニングは過去問をベースにしており、とて「過去問の一部」であり、トレーニングから多くではありません。しかし、同じ問題が出題されたと、和訳(米国の試験の為)による違和感に慣れるという意味ではメリットが大きいといえます。

も有用ですが、出題されるわけがあるという意味

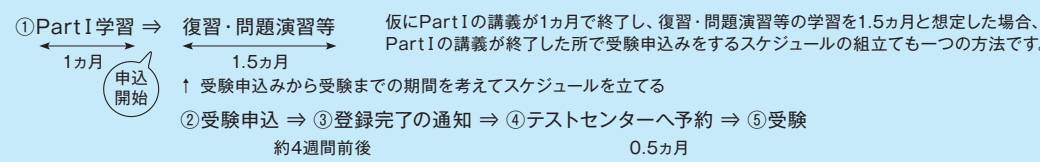
⇒ トレーニングの問題は過去問をベースに、各Part共300問を収録しています。更にCIA試験と同様の形式で問題演習が実施できる、Webトレーニングもご利用いただけます。
※冊子のトレーニングとWebトレーニングの問題は同じものになります。

各Partの学習が終了したら、いざCIA試験へ!

CIA試験はPartごとに受験することができます。その為、学習した知識を忘れないうちに受験することをお勧めいたします。日本内部監査協会に受験申込み等の書類を提出して、その書類が届いてから登録完了の通知が受験者の方に届くのが約4週間前後となります。それから各テストセンターへ受験の予約を入れて、本試験日が確定します。従って、各Partの学習が終了し、復習や問題演習を行う時間を考慮して受験日を決定する必要があります。



～ご自身の生活環境(お仕事の状況)と学習状況を踏まえたスケジュールでの受験が必要～



CIA試験

合格!

無料体験講義をWeb配信!

TACホームページ内のTAC動画チャンネルより体験講義の動画をご視聴いただけます。体験講義に使用する議事録もPDFにて出力可能です。

<http://www.tac-school.co.jp/>

※体験講義は生講義を収録したものになります。
※接続環境・動作環境などの詳細は、TACホームページをご確認ください。
※視聴申込み(無料)が必要になります。予めご了承ください。

会計を初めて学習される方、
IT対策に更に力を入れたい方の為の
サポートコースをご用意しました!

会計の学習が初めての方に最適!

～PartⅢ学習前にご受講ください～

■会计学入門(Basic会計講座)

(別途申込みが必要です)

初めて会計を学習される方でも、PartⅢの講義を安心して受講していただけるように、会计学入門(Basic会計講座)では、財務会計・管理会計の基礎論点について、対策講義を行います。
※PartⅢの講義は、財務会計、管理会計の基礎知識をお持ちであることが前提となります(日商簿記2級レベル)。必要に応じて、会计学入門(Basic会計講座)をご受講ください。

最難関のIT(情報技術)もこれで万全!

■IT対策講座

(別途申込みが必要です)

IT(情報技術)は、PartⅢにおいて出題割合の30%~40%を占めるとともに、PartⅠ・PartⅡでも出題される最重要論点です。IT対策講座では、この最重要論点について、各Partの断片的知識を有機的に結合し、科目横断的に徹底したCIA試験対策を行います。



学習メディア&特典・フォロー制度

選べる学習メディア

通学スタイル

TACに通っていただき、迫力ある生講義を教室または各校のビデオルームで受講する学習スタイルです。

教室講座



迫力の講義はわかりやすさが断然違う！

日程表に沿ってTACの教室に通学する学習スタイルです。迫力あふれる講義を生で体感でき、直接講師から合格のノウハウを吸収することができます。同じ目標を持った多くの受講生とのコミュニケーションも教室講座受講の魅力です。

- 受講メリット**
- ◆疑問点はTACの講師に即質問、即解決できる！
 - ◆通学スタイルだから学習のペースがつかみやすい！
 - ◆身近にいる受講生同士で、情報交換などが行える！

ビデオ (DVD) 講座



DVDルームで集中学習、スケジュールは自由自在！

ご自身の都合の良い日に予約して、TACのDVDルーム内の個別ビデオブースで教室講座を収録したDVDを見て学習するスタイルです。「自分のペースで学習したい」、「集中できる環境で学習したい」という方におすすめです。

- 受講メリット**
- ◆受講日も時間帯も自分の都合で決めることができる！
 - ◆巻き戻し・早送りで重要ポイントも見逃さない！
 - ◆講義録(板書の写し)が付くので、ノートに写す作業が省け、講義に集中できる！

受講システム

1. まずは視聴日(受講)の予約

視聴日程は、各コースのビデオ (DVD) 視聴開始日以降 (P24参照) であれば各自の都合に合わせて、自由に組んでいただけます。ご視聴にあたっては予めご予約をお願いします(詳しくはTAC各校にお問い合わせください)。

2. そして当日TAC DVDルームにて視聴

予約した日時に、DVDルーム窓口にて、DVD・講義録・レジュメ等をお受取りになり、DVDルーム内でご覧いただけます (DVDの貸し出しは行っておりません)。

- 時間帯**
- ① 9:30~12:30 ② 12:30~15:30
 - ③ 15:30~18:30 ④ 18:30~21:30※
- ※日曜日は④の時間帯はございません。

3. 校舎間の移動も自由！あなたの学習ペースに合わせて、いつでもお近くのTACで受講できます！

＜ご注意＞…DVD通信講座における視聴にはDVD・R対応プレーヤーが必要となります。パソコンやゲーム機などでの再生は動作保証対象外となりますのでご注意ください。

通信スタイル

TACのおススメ！

教室講義を生収録したDVDと教材をお届けします。高画質・高音質なDVDをご都合の良い場所で受講していただけます。

DVD通信講座



自宅が教室になる！
DVDで臨場感あふれる迫力の講義を再現！

教室の講義を収録したDVDをお届けします。高画質・高音質なDVDは、早送りも簡単、巻き戻しも不要で機能性も抜群。コンパクトで収納場所にも困りません。

- 受講メリット**
- ◆サーチやスキップの操作で繰り返し学習が可能！
 - ◆自分のペースで学習ができるので、忙しい社会人には最適！
 - ◆講義録(板書)の活用でノート作成不要だから講義に集中できる！

TACには特別な受講メリットがあります！！

◆教室フリーパス (本科生のみ)

本科生をご受講の方は、受講形態 (教室・ビデオ (DVD)・DVD通信講座) に関わりなく、ご自身の受講期間内であれば開講している教室講義に自由に出席することができます。

- 受講期間
- ◆2009年春入学コース…2010年3月31日まで
 - ◆2009年夏入学コース…2010年7月31日まで
 - ◆2009年冬入学コース…2010年11月30日まで

○上記の受講期間内であれば、全ての教室講義に出席することができます。

○教室フリーパスは教室講義に出席できる特典です。通学ビデオ (DVD) 講座での視聴は出来ませんので、ご注意ください。

本科生特典②

＜受講方法の一例＞ 仕事が忙しくて、通学講座が難しい社会人の方



- ・直接講師に質問ができる
- ・講義DVDでインプットした知識を教室講義で再度チェック
- ・他の受講生と一緒に講義を受けることにより、モチベーションアップ

万全のサポート体制

TACでは、受験生の皆様が安心して学習していただけるよう、万全のサポート体制を整えています。また、学習メディア別に充実したフォローシステムもご用意しております。

教室の特典・フォロー制度

ビデオ (DVD) フォロー (有料)

欠席された講義を、TACビデオルーム内の個別ブースにてご視聴できます (要予約、有料¥500/回 講義録付)。
※TAC直営校でのご視聴に限られます。TAC提携校ではご視聴いただけません。ご了承ください。

追っかけビデオサービス (無料)
開講日が過ぎても、過ぎてしまった講義の部分をビデオ (DVD) 講座で受講し、教室講座の日程に追いついたところで教室講座に出席することができます。

教室・ビデオ (DVD) 講座共通の特典・フォロー制度

カセットダビングサービス

TAC受付の高速ダビング機で欠席した講義のカセットテープをダビングできます。(講義録はお客様ご自身でコピーをしていただくことになります。カセットは別途ご用意ください。ダビング用のカセットは受付でも販売しております)。

DVD通信講座の特典・フォロー制度

講義録つき
DVD通信講座には講義の板書を写した講義録が添付されます。ノートをとる作業がないので、講義に集中できます。

教室・ビデオ (DVD)・DVD通信講座共通の特典・フォロー制度

自習室

TACでは授業等で使用していない教室を自習室として開放しています。
※本科生・単科生 (会計学 (Basic会計講座)・IT対策講座・Web答練除く) の方は、受講形態 (通学・通信) に関らず受講期限までご利用いただけます。
※教室の使用状況により自習室として開放できない場合もございます。
※会計学入門 (Basic会計講座)・IT対策講座・Web答練のみをご受講の方は対象外となります。

ビデオ (DVD) 講座の特典・フォロー制度

選べる受講時間帯
午前9:30より3時間ずつの4つの時間帯を設定しています。ご自身の都合に合わせて予約の上、ご視聴できます。

- ◇受講時間帯 (月曜～日曜)
- ① 9:30~12:30 ② 12:30~15:30
 - ③ 15:30~18:30 ④ 18:30~21:30
- (注)日曜日については④枠は除く。なお2講義分まで事前予約が可能です。

講義録つき
講義の中で黒板に書かれた講義録や配られたプリントをお渡しいたします。黒板の文字をノートに写す作業がないので、講義に集中できます。

重複受講制度 (有料)

既に教室に出席した、または、ビデオブースにて視聴した講義につき、TAC各校のビデオブースにてご視聴いただくことができます。(要予約、500円/回) ※TAC直営校でのご視聴に限られます。TAC提携校ではご視聴いただけません。ご了承ください。

添削指導
添削問題についてのご質問は、提出された答案を通じて回答し、ご返送いたします。弱点補強に大変役立ちます。
※各Part共、添削問題は全1回となります。

http://hapilala.jp

「ハピララ」とは、TACが運用するインターネットコミュニティスペースです。ハピララには、資格に関する様々な情報が集まっており、同じ境遇の受験生とコミュニケーションすることもできます。TAC会員を対象としたサービスですので、受講期限後も、無料・無期限でご利用いただくことができます。

i-support 質問・最新情報はここで確認！インターネットならではの機能が充実！

TACでは、合格に向かって邁進する受講生をサポートするため、Webにおける学習支援システム「i-support」を運用しています。講義・教材に関するご質問のほか、講座からの情報収集ツールとしてご利用ください。

- ※i-supportのご利用は、受講期限までとなります。
 - ※会計学入門 (Basic会計講座)・IT対策講座・Web答練には、i-supportは含まれていません。
 - ※i-supportのご利用は、パソコンでインターネットに接続できる環境があり、パソコンのEメールアドレスをお持ちの方に限定させていただきます。
 - ※i-supportの動作環境は、TACホームページ (http://www.tac-school.co.jp/) 内のWEB SCHOOLページにて、ご確認ください。
- なお、i-supportの動作環境は、Webトレーニング・Web答練の動作環境とは異なりますので、ご確認の際は、i-support専用の動作環境をご覧ください。

質問メール いつでもメールで質問できる！

TAC講師にいつでも直接メールで質問できます。疑問点や不明点は早めに解決することが大切です。TACの講師・スタッフが分かりやすく丁寧にお答えします。
＜質問メールに関しての注意事項＞
※CIA試験の内容については非開示が義務付けられている為、ご質問によってはお答えできない場合がございます。予めご了承ください。
※質問の回数は、4科目本科生50回、3科目本科生40回、各科目の単科生は各10回となります。(会計学入門 (Basic会計講座)・IT対策講座・Web答練を除く)。

テキスト情報

資料をダウンロード
テキストに関する情報を掲載しています。補足資料などをダウンロードしてご利用ください。

i-news

最新の試験情報や役立つ情報を発信
試験に関する情報、講座案内、公開セミナー、出題重要ポイントなど、受験生に役立つ様々な情報をWeb上で確認できます。

再受講割引制度

本科生特典③

4科目・3科目本科生のお申込みの方で受講期限後、既に受講した単科生コースの科目を各科目¥20,000で受講いただけます。苦手科目の克服や最新情報の取得等にご利用ください。

- ※当制度ご利用の際には、本科生の各科目を単科生でご受講いただく形式となります。
- ※受講形態に関しましては、本科生受講時の登録内容を問わず、教室・ビデオ・DVD通信のいずれも選択することができます。
- ※カリキュラム等の変更に伴い、対象コースが変更となる場合がございます。予めご了承ください。
- ※TAC直営校の受付でのお申込みになります。

再受講割引・合格者割引制度の詳細は26・27ページをご覧ください。

合格者割引制度

他資格の合格者をバックアップ！

公認会計士試験・U.S.CPA (米国公認会計士) 試験・税理士試験・中小企業診断士試験の合格者の方につきまして、「CIA講座4科目本科生」が通常受講料から10%割引でお申込みいただける「合格者割引制度」をご用意しました。是非、ダブルライセンスにチャレンジしてください。

4科目本科生…¥195,000 (通常受講料) ⇒ ¥175,500 (割引受講料)



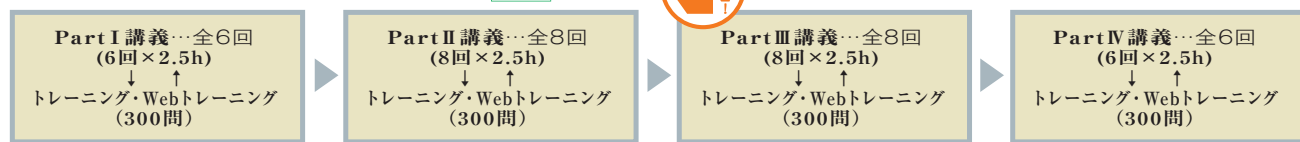
コース案内（開講コース）

初学者の方が、短期間で合格するために必要な知識を効率良く学習することができるコースをご用意しました。

■カリキュラム

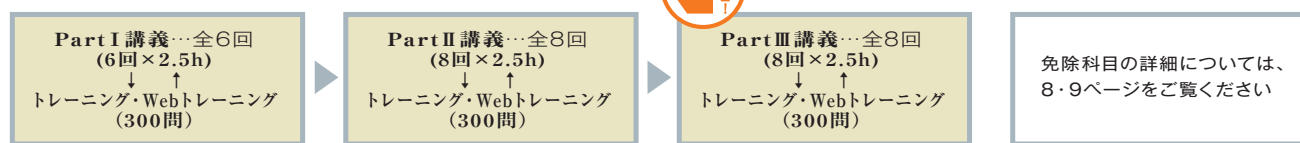
PartⅠからPartⅣまでの4科目全てを学習したい方

4科目本科生（全28回）



PartⅣが免除で、PartⅠからPartⅢまでを学習したい方

3科目本科生（全22回）

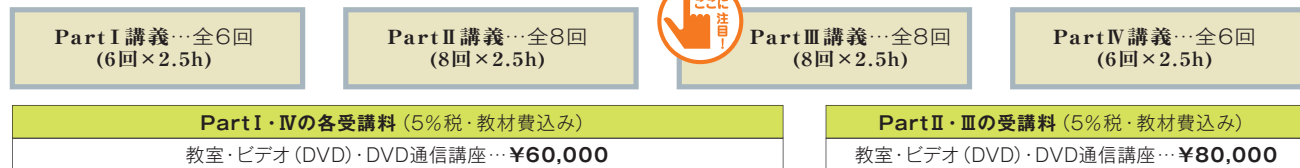


本科生特典④ CIA試験合格者の実務をサポートするため、4科目・3科目本科生の申込み者合格特典として、日本内部監査協会発行「専門職的実施のフレームワーク」を贈呈しております（合格確認手続き終了後、ご自宅に送付いたします）。
※詳細はお申込み時に配付する受講ガイドでご確認ください。

各Partを単科で学習したい方

単科生

各Partを単科で受講することができる単科生コースをご用意しました。既に幾つかのPartを合格された方にお勧めのコースです。



※0から始まる会員番号をお持ちでない方は別途入会金¥10,000（5%税込）が必要です。 ※コースNo.等の詳細は26ページの受講料一覧をご覧ください。

■教材一覧

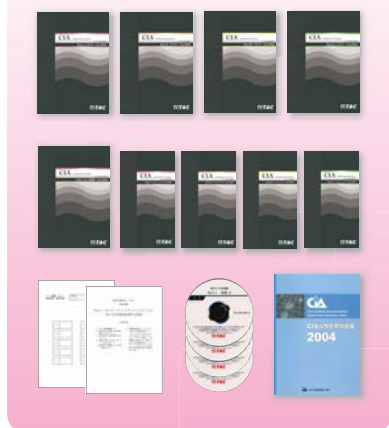
	教材名	受講ガイド	規定集※1	CIA試験参考問題集2004※2	テキスト				トレーニング				Webトレーニング				基本講義DVD※3				添削問題※4	講義録※5
					PartⅠ	PartⅡ	PartⅢ	PartⅣ	PartⅠ	PartⅡ	PartⅢ	PartⅣ	PartⅠ	PartⅡ	PartⅢ	PartⅣ	PartⅠ	PartⅡ	PartⅢ	PartⅣ		
	数量	1冊	1冊	1冊	各Part1冊				各Part1冊				各PartWeb上で実施				6回分	8回分	8回分	6回分	6Part1回	—
4科目本科生	教室講座	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—	—	—	—	—	—
	ビデオ（DVD）講座	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—	—	—	—	—	—
3科目本科生	教室講座	●	●	●	●	●	●	—	●	●	●	—	●	●	●	—	—	—	—	—	—	—
	ビデオ（DVD）講座	●	●	●	●	●	●	—	●	●	●	—	●	●	●	—	—	—	—	—	—	—
PartⅠ単科生	教室講座	●	●	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ビデオ（DVD）講座	●	●	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
PartⅡ単科生	教室講座	●	●	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ビデオ（DVD）講座	●	●	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
PartⅢ単科生	教室講座	●	—	—	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ビデオ（DVD）講座	●	—	—	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
PartⅣ単科生	教室講座	●	—	—	—	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ビデオ（DVD）講座	●	—	—	—	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※1 規定集はPartⅠ・PartⅡのみに付きます。また1冊にまとめられています。
※2 CIA試験参考問題集2004は4科目・3科目本科生申込み者のみとなります。
※3 DVD通信講座には講義を収録したDVDが送付されます。
※4 添削問題は各Partに1回付いており、DVD通信講座のみに含まれます。教室・

ビデオ（DVD）講座には付いておりません。教育訓練給付制度指定講座の4科目本科生DVD通信講座には添削問題が全4回（各Part1回）ついておりますが、修了要件の一つである添削提出率80%をクリアするには、全4回全ての添削問題の提出が必要です。

※5 講義によっては、講義録がない場合もあります。

<4科目本科生教材例>



※写真はイメージです。
DVDはDVD通信講座のみの教材です。



4科目本科生のDVD通信講座が適用コースとなります。

一定の条件をみたした場合、厚生労働大臣が指定した講座の入会金と受講料の一部が支給される制度です。詳細については、最終ページおよびTAC発行の「教育訓練給付制度」案内書をご覧ください。

■その他のサポートコース



初めて会計の学習をされる方

会計学入門（Basic会計講座）（全6回）

お得な受講料
¥10,000

初めて会計を学習される方でも、PartⅢの講義を安心して受講していただけるように、会計学入門（Basic会計講座）では、財務会計・管理会計の基礎論点について、対策講義を行います。

※PartⅢの講義は、財務会計、管理会計の基礎知識をお持ちであることが前提となります。必要に応じて、会計学入門（Basic会計講座）をご受講ください。

★教材：テキスト1冊、トレーニング1冊、Webトレーニング（100問）

※i-support（質問メール等）・教室フリーパスはご利用できません。

会計学入門（Basic会計講座）受講料（5%税・教材費込み）
教室・ビデオ（DVD）・DVD通信講座…¥10,000

最難関であるIT（情報技術）を科目横断的に学習したい方

IT対策講座（全6回）

IT対策講座 受講料（5%税・教材費込み）
教室・ビデオ（DVD）・DVD通信講座…¥30,000

IT（情報技術）はPartⅢにおいて出題割合の30%～40%を占めるとともに、PartⅠ・PartⅡでも出題される最重要論点です。

IT対策講座ではこの最重要論点について各Partの断片的知識を有機的に結合し、科目横断的に徹底したCIA試験対策を行います。

★教材：テキスト1冊、トレーニング1冊、Webトレーニング（150問）

※i-support（質問メール等）・教室フリーパスはご利用できません。

本試験と同一形式の模擬試験を受けたい方

Web答練（全5回）

Web答練講座（5%税込み）
¥10,000/1Part

Web答練は、Web（パソコン）において答案練習することができる模擬試験です。過去に出題された試験問題がCIA試験と同形式で出題され、成績はレーダーチャート等で分析できますので、CIA試験の直前対策としてご利用ください。

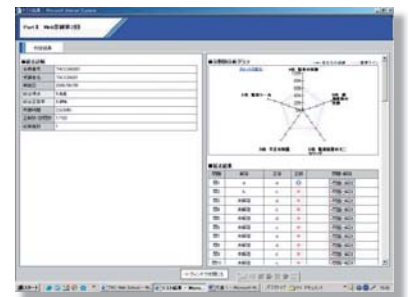
主要機能

- ・出題形式は四肢択一式
- ・出題数は各Part共100問
- ・試験時間は2時間45分

- ★CIA試験と同形式で出題されます。
- ★見直したい問題にはチェック・マークを付し、まとめて見直すことができます。
- ★答練途中にご都合が悪くなった場合、中断機能により答練を中断し、ご都合の良い時間に答練を再開することができます。
- ★受験場所・受験時間に制約はございません。

答練概要

- ★成績はレーダーチャート等で分析できます。
- ※Web答練の動作環境は、WEB SCHOOLページにて、お申込み前に必ずご確認ください。
- ★試験回数：5回（100題×5回）
- ★受験料：各Part 10,000円（5%税込み）
- ※各Partごとのお申込みとなります。
- ※同じ答練を繰り返し実施することはできません。
- ※ご自身の成績と解説がWeb上で確認できます（Web上からプリントアウトすることはできません）。
- ※教材等の送付はございません。
- ※i-support（質問メール等）はご利用できません。
- ※Web答練のみお申込みの場合はTAC入会金10,000円（5%税込）は不要となっております。
- ※Web答練の受講期間は以下になります。
- ◆2009年春入学…2009年11月30日まで
- ◆2009年夏入学…2010年3月31日まで
- ◆2009年冬入学…2010年7月31日まで



詳しい日程については、24・25ページをご覧ください！



日程表

毎月
開講

教室

ビデオ(DVD)

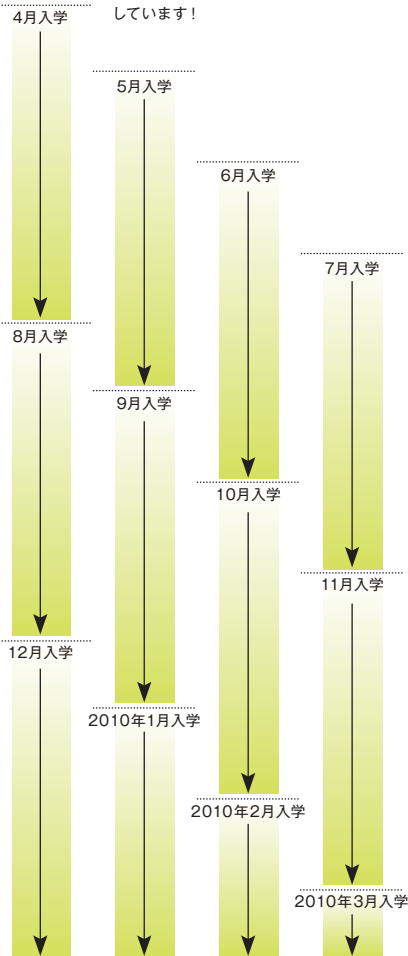
DVD通信

4科目本科生・3科目本科生・単科生コース

	入学月	教室講座：水道橋校		教室講座日程	ビデオ(DVD) 講座視聴開始日	DVD通信講座 教材送付開始日
		10:00~12:30	14:00~16:30			
春入学コース	4月	Part I①	Part I②	4/11(土)	4/17(金)	5/1(金)
		Part I③	Part I④	4/18(土)	4/24(金)	5/1(金)
		Part I⑤	Part I⑥	4/25(土)	5/1(金)	5/1(金)
	5月	Part II①	Part II②	5/9(土)	5/15(金)	5/29(金)
		Part II③	Part II④	5/16(土)	5/22(金)	5/29(金)
		Part II⑤	Part II⑥	5/23(土)	5/29(金)	6/5(金)
	6月	Part II⑦	Part II⑧	5/30(土)	6/5(金)	6/5(金)
		Part III①	Part III②	6/6(土)	6/12(金)	6/19(金)
		Part III③	Part III④	6/13(土)	6/19(金)	6/19(金)
	7月	Part III⑤	Part III⑥	6/20(土)	6/26(金)	7/3(金)
		Part III⑦	Part III⑧	6/27(土)	7/3(金)	7/3(金)
		Part IV①	Part IV②	7/11(土)	7/17(金)	7/31(金)
夏入学コース	8月	Part IV③	Part IV④	7/18(土)	7/24(金)	7/31(金)
		Part IV⑤	Part IV⑥	7/25(土)	7/31(金)	7/31(金)
		Part I①	Part I②	8/1(土)		
	9月	Part I③	Part I④	8/8(土)		
		Part I⑤	Part I⑥	8/22(土)		
		Part II①	Part II②	8/29(土)		
	10月	Part II③	Part II④	9/5(土)		
		Part II⑤	Part II⑥	9/12(土)		
		Part II⑦	Part II⑧	9/26(土)		
	11月	Part III①	Part III②	10/3(土)		
		Part III③	Part III④	10/10(土)		
		Part III⑤	Part III⑥	10/17(土)		
冬入学コース	12月	Part III⑦	Part III⑧	10/24(土)		
		Part IV①	Part IV②	11/7(土)		
		Part IV③	Part IV④	11/14(土)		
	2010年 1月	Part IV⑤	Part IV⑥	11/21(土)		
		Part I①	Part I②	12/5(土)		
		Part I③	Part I④	12/12(土)		
	2月	Part I⑤	Part I⑥	12/19(土)		
		Part II①	Part II②	1/9(土)		
		Part II③	Part II④	1/16(土)		
	3月	Part II⑤	Part II⑥	1/23(土)		
		Part II⑦	Part II⑧	1/30(土)		
		Part III①	Part III②	2/6(土)		

教室講座は毎月開講しています！

Part I からPart IV の順で学習する4月入学、8月入学、12月入学のほかに、5月からPart II、III、IV、I の順で学習できる5月入学コースなど、TACのCIA講座は毎月開講しています！



以降の日程は2009年8月中旬完成予定の公認内部監査人(CIA)総合案内書をご覧ください。

◆各Partを単科生でお申込みの場合、上記日程表の各Part(色分した部分)の日程をご覧ください。

Part I Part I Part II Part II
Part III Part III Part IV Part IV

◆教室開講日が過ぎてからでも、十分受講が可能です！

- ① 本科生を受講する場合、DVD通信講座がおすすめです。教室フリーパス(20ページ参照)のフォロー制度がご利用いただけるので、過ぎてしまった講義をご自身で学習していただき、その後教室講座に出席することができます。
- ② 教室講座の場合、過ぎてしまった講義の部分をビデオ(DVD)講座で受講し、教室講座の日程に追いついた所で、教室講座に出席することができます。

●教室フリーパス期限(4科目本科生・3科目本科生のみ対象)

◇春入学コース…2010年3月31日まで ◇夏入学コース…2010年7月31日まで ◇冬入学コース…2010年11月30日まで

※教室フリーパスの期限は、下記のお申込みコースの受講期限と同様となります。

受講期限			
4科目本科生 3科目本科生 共通	春入学(4~7月)	…2010年3月31日	単科生共通
	夏入学(8~11月)	…2010年7月31日	
	冬入学(12~3月)	…2010年11月30日	
	春入学(4~7月)	…2009年11月30日	
	夏入学(8~11月)	…2010年3月31日	
	冬入学(12~3月)	…2010年7月31日	

※都合により、日程が変更になる場合もございます。予めご了承ください。

※教室フリーパスのフォロー制度は本科生のみの特典となります。

サポートコース

●会計学入門(Basic会計講座)

	DVD通信講座教材送付開始日
春入学	4/8(水)から随時送付開始
夏入学	8/3(月)から随時送付開始
冬入学	12/1(火)から随時送付開始

◆会計学入門(Basic会計講座)申込み可能期間

- ・春入学…2009年4月1日~7月31日
- ・夏入学…2009年8月1日~11月30日
- ・冬入学…2009年12月1日~2010年3月31日
- ※夏入学・冬入学は春入学コースの内容と同一となります。

●IT対策講座

	DVD通信講座教材送付開始日
春入学	4/8(水)から随時送付開始
夏入学	8/3(月)から随時送付開始
冬入学	12/1(火)から随時送付開始

◆IT対策講座申込み可能期間

- ・春入学…2009年4月1日~7月31日
- ・夏入学…2009年8月1日~11月30日
- ・冬入学…2009年12月1日~2010年3月31日
- ※夏入学・冬入学は春入学コースの内容と同一となります。

※会計学入門(Basic会計講座)・IT対策講座は本科生・単科生に含まれておりません。
※都合により、日程が変更になる場合もございます。予めご了承ください。
※会計学入門(Basic会計講座)・IT対策講座はi-support(質問メール等)・教室フリーパスはご利用いただけません。
※会計学入門(Basic会計講座)・IT対策講座はDVD通信でのご受講となります。

無料体験入学のご案内

お申込前に講義を無料で体験していただけます。ご自身の目で確かめてからお申込みください！



教室講座



ビデオ(DVD)講座

TAC各校受付または無料公開セミナー&講座説明会にて配布する「無料体験入学申込書」にご記入の上、当日直接校舎までお越しください。

1

各科目の初回講義の日程を日程表などでご確認ください。ご不明な場合はお問い合わせください。
※教室・ビデオ(DVD)講座で体験入学いただけるのは、各科目の初回講義に限ります。

2

予約は不要です。講義開始の約20分前に受付窓口にお越しください。
※ビデオ(DVD)講座は視聴希望日の前日までに、ご予約ください。

3

「無料体験入学申込書」にご記入の上、ご提出ください。初回講義の教材一式をお貸しします。

4

講義にご出席いただけます。教室にお越しください。ビデオ(DVD)講座の場合は、DVDルームにご案内します。

体験講義をWeb配信！

TACホームページ内のTAC動画チャンネルより体験講義の動画をご視聴いただけます。

体験講義に使用する講義録もPDFにて出力可能です。

※体験講義は生講義を収録したものではありません。

※接続環境・動作環境などの詳細は、TACホームページをご確認ください。

TAC
ホームページ

<http://www.tac-school.co.jp/>



受講料一覧



2009年 春入学（4月開講）

コース名	受講形態	コースNo.	クラスNo.	通常受講料 (5%)	受講期限	備 考	給付対象
春入学4科目本科生 (4～7月)	教室 ビデオ (DVD) DVD通信	102-101 102-101 102-301	22 ※1 96	¥195,000	2010年 3 / 31	教室生講義 (水曜校校)	—
春入学3科目本科生 (4～7月)	教室 ビデオ (DVD) DVD通信	102-121 102-121 102-321	22 ※1 96	¥160,000		教室生講義 (水曜校校)	★
春入学単科生 Part I (4月)	教室 ビデオ (DVD) DVD通信	102-201 102-201 102-401	22 ※1 96	¥60,000		教室生講義 (水曜校校)	—
春入学単科生 Part II (5月)	教室 ビデオ (DVD) DVD通信	102-202 102-202 102-402	22 ※1 96	¥80,000	2009年 11 / 30	教室生講義 (水曜校校)	—
春入学単科生 Part III (6月)	教室 ビデオ (DVD) DVD通信	102-203 102-203 102-403	22 ※1 96	¥80,000		教室生講義 (水曜校校)	—
春入学単科生 Part IV (7月)	教室 ビデオ (DVD) DVD通信	102-204 102-204 102-404	22 ※1 96	¥60,000		教室生講義 (水曜校校)	—



2009年 冬入学（12月開講）

コース名	受講形態	コースNo.	クラスNo.	通常受講料 (5%)	受講期限	備 考	給付対象
冬入学4科目本科生 (12～3月)	教室 ビデオ (DVD) DVD通信	104-101 104-101 104-301	22 ※1 96	¥195,000	2010年 11 / 30	教室生講義 (水曜校校)	—
冬入学3科目本科生 (12～3月)	教室 ビデオ (DVD) DVD通信	104-121 104-121 104-321	22 ※1 96	¥160,000		教室生講義 (水曜校校)	★
冬入学単科生 Part I (12月)	教室 ビデオ (DVD) DVD通信	104-201 104-201 104-401	22 ※1 96	¥60,000		教室生講義 (水曜校校)	—
冬入学単科生 Part II (1月)	教室 ビデオ (DVD) DVD通信	104-202 104-202 104-402	22 ※1 96	¥80,000	2010年 7 / 31	教室生講義 (水曜校校)	—
冬入学単科生 Part III (2月)	教室 ビデオ (DVD) DVD通信	104-203 104-203 104-403	22 ※1 96	¥80,000		教室生講義 (水曜校校)	—
冬入学単科生 Part IV (3月)	教室 ビデオ (DVD) DVD通信	104-204 104-204 104-404	22 ※1 96	¥60,000		教室生講義 (水曜校校)	—



Web答練

コース名	受講形態	コースNo.	クラスNo.	通常受講料 (5%)	受講期限
春入学 (4～7月)	Part I Part II Part III Part IV	102-901 102-902 102-903 102-904	W1	¥10,000	2009年 11 / 30
夏入学 (8～11月)	Part I Part II Part III Part IV	103-901 103-902 103-903 103-904			
冬入学 (12～3月)	Part I Part II Part III Part IV	104-901 104-902 104-903 104-904			

ビデオ (DVD) 講座クラスNo.一覧

クラスNo.	札幌	仙台	水尾橋	新宿	池袋	渋谷	八重洲	立川	町田	横浜	大宮	名古屋	京都	梅田	なんば	神戸	広島	福岡
	K0	J0	20	G0	30	L0	F0	M0	A0	40	C0	50	60	70	B0	E0	N0	80

再受講割引受講料

●再受講割引制度適用の範囲

過去に4科目本科生・3科目本科生を受講された方に限り、今年度のCIA講座下記コースの受講料が¥20,000となります。

●割引制度ご利用のために提出が必要なもの

◇CIA講座の会員証

※郵送でお申込みの際は必ず上記会員証を添付してください。また銀行振込、郵便振替による場合は必ず振込控えを添付してください。

※教室・ビデオ (DVD) 講座はTAC各校受付窓口にてお申込みください。



2009年 春入学（4月開講）

コース名	受講形態	コースNo.	クラスNo.	通常受講料 (5%)	受講期限	備 考
春入学単科生 Part I (4月)	教室 ビデオ (DVD) DVD通信	102-211 102-211 102-411	22 ※1 96	¥20,000	2009年 11 / 30	教室生講義 (水曜校校)
春入学単科生 Part II (5月)	教室 ビデオ (DVD) DVD通信	102-212 102-212 102-412	22 ※1 96			教室生講義 (水曜校校)
春入学単科生 Part III (6月)	教室 ビデオ (DVD) DVD通信	102-213 102-213 102-413	22 ※1 96			教室生講義 (水曜校校)
春入学単科生 Part IV (7月)	教室 ビデオ (DVD) DVD通信	102-214 102-214 102-414	22 ※1 96			教室生講義 (水曜校校)



2009年 冬入学（12月開講）

コース名	受講形態	コースNo.	クラスNo.	通常受講料 (5%)	受講期限	備 考
冬入学単科生 Part I (12月)	教室 ビデオ (DVD) DVD通信	104-211 104-211 104-411	22 ※1 96	¥20,000	2010年 7 / 31	教室生講義 (水曜校校)
冬入学単科生 Part II (1月)	教室 ビデオ (DVD) DVD通信	104-212 104-212 104-412	22 ※1 96			教室生講義 (水曜校校)
冬入学単科生 Part III (2月)	教室 ビデオ (DVD) DVD通信	104-213 104-213 104-413	22 ※1 96			教室生講義 (水曜校校)
冬入学単科生 Part IV (3月)	教室 ビデオ (DVD) DVD通信	104-214 104-214 104-414	22 ※1 96			教室生講義 (水曜校校)



2009年 夏入学（8月開講）

コース名	受講形態	コースNo.	クラスNo.	通常受講料 (5%)	受講期限	備 考	給付対象
夏入学4科目本科生 (8～11月)	教室 ビデオ (DVD) DVD通信	103-101 103-101 103-301	22 ※1 96	¥195,000	2010年 7 / 31	教室生講義 (水曜校校)	—
夏入学3科目本科生 (8～11月)	教室 ビデオ (DVD) DVD通信	103-121 103-121 103-321	22 ※1 96	¥160,000		教室生講義 (水曜校校)	★
夏入学単科生 Part I (8月)	教室 ビデオ (DVD) DVD通信	103-201 103-201 103-401	22 ※1 96	¥60,000		教室生講義 (水曜校校)	—
夏入学単科生 Part II (9月)	教室 ビデオ (DVD) DVD通信	103-202 103-202 103-402	22 ※1 96	¥80,000	2010年 3 / 31	教室生講義 (水曜校校)	—
夏入学単科生 Part III (10月)	教室 ビデオ (DVD) DVD通信	103-203 103-203 103-403	22 ※1 96	¥80,000		教室生講義 (水曜校校)	—
夏入学単科生 Part IV (11月)	教室 ビデオ (DVD) DVD通信	103-204 103-204 103-404	22 ※1 96	¥60,000		教室生講義 (水曜校校)	—



会計学入門 (Basic会計講座)・IT対策講座

コース名	受講形態	コースNo.	クラスNo.	通常受講料 (5%)	受講期限
春入学会計学入門 (Basic会計講座)	DVD通信	102-551	96	¥10,000	2009年 11 / 30
夏入学会計学入門 (Basic会計講座)		103-551			2010年 3 / 31
冬入学会計学入門 (Basic会計講座)		104-551		¥30,000	2010年 7 / 31
春入学IT対策講座		102-561			2009年 11 / 30
夏入学IT対策講座		103-561			2010年 3 / 31
冬入学IT対策講座		104-561			2010年 7 / 31

- 0から始まるTAC会員番号をお持ちでない方は、受講料のほかに別途入会金¥10,000 (5%税込) が必要となります。会員番号につきましては、TAC各校までお問い合わせください。
- Web答練のみのお申込みの場合は、入会金¥10,000は不要です。
- 受講料には消費税 (5%)、テキスト代が含まれています。
- お申込みの際は、入学期により「開講・視聴/送付開始日」が異なりますのでご確認ください。
- 「開講・視聴/送付開始日」が過ぎてからお申込みされた場合でも、受講有効期限は延長になりませんのでご了承ください。
- 講義日程等は都合により変更になる場合がございます。その際、視聴開始日、送付開始日も多少前後する場合がございますのでご了承ください。

合格者割引制度

他資格の合格者をバックアップ！

公認会計士試験・U.S.CPA (米国公認会計士) 試験・税理士試験・中小企業診断士試験の合格者の方につきまして、「CIA講座4科目本科生」が通常受講料から10%割引でお申込みいただける「合格者割引制度」をご用意しました。是非、ダブルライセンスにチャレンジしてください。

●割引の対象者

(1) 公認会計士試験 (旧第2次試験含む) 合格者

※旧3次試験・修了試験の合否は問いません (公認会計士・会計士補・試験合格者いずれも対象となります)。

※2006年度から導入された公認会計士新試験における「短答式試験合格者」、「論文式試験の一部科目合格者」は対象外となります。

(2) U.S.CPA (米国公認会計士) 試験合格者

※Cretificateの取得状況は問いません。

(3) 税理士試験5科目合格者 (科目免除合格者を含む)

(4) 中小企業診断士試験合格者

※第2次試験合格者 (口述試験まで合格している方) のみが対象となります。

※中小企業診断士としての登録の有無は問いません

(実務補習・実務従事前でも結構です)。

●対象コース

CIA講座4科目本科生の教室・ビデオ (DVD)・DVD通信講座

※割引は4科目本科生のみとなります (3科目本科生・単科生・その他のコースは対象外)。また、受講形態はすべて対象となります。

●お申込み方法

(1) お申込みはTAC各校受付または郵送のみ承ります。書店代理店・大学生協ではお申込みできません。予めご了承ください。

(2) お申込み時に「①合格者であることを証明するもの (合格証書・実務補習所の出席票・名刺等・公認会計士、会計士補であることを証明するもの)」と「②身分証明書」をご提示ください。尚、郵送の場合は①のコピーを同封してください (②は不要です)。

●その他

(1) 入会金免除券を除く他の割引との併用はできません。

(2) 公認会計士の方 (会計士補を除く)、U.S.CPAでCertificateを取得している方については、CIA試験においてPart IVが免除となるため、3科目本科生をご利用いただいた方が割安となります。

■有料公開セミナー

[継続教育制度 (CPE) 認定プログラム]

☐ 開講地区…渋谷校 ☐ 受講料一覧 (クラスNo.L1)

コースNo.	コース名	通常受講料 (5%税込)
109-001	①②③一括申込	¥25,000円
109-002	①内部統制と内部監査、その共通点とアカウントビリティ	¥10,000円
109-003	②リスクアプローチ監査の心髄	¥10,000円
109-004	③不正行為と内部監査	¥10,000円

頼れるTACの無料受講相談！

自宅に居ながら、疑問解消！
入会の強制は一切致しませんので、
ご安心ください。

資格・受講形態・コース選択etc.で
迷っている方に！

これから「通信講座」で受講を
お考えの方へ！

資格の悩みは尽きることがないのになかなか相談できない…。
資格取得を目指す方の疑問にお客様専任のアドバイザーが
お答えします。

電話で！
これから始める相談ダイヤル

0120-443-411

※携帯・自動車電話、PHS、衛生電話からもご利用になれます。
<受付時間> 9:30～19:00 (月曜～金曜) 9:30～18:00 (土曜・日曜・祝日)

メールで！
これから始める相談メール

http://www.tac-school.co.jp/

TAC
ホームページ
にアクセス

「無料受講相談」
をクリック

「これから始める相談メール」
をクリック

通信講座に興味はあるけど…、と迷っている方も講座内容の最終確認の方もお電話ください。お客様が知りたい・聞きたい情報を、アドバイザーがお応えいたします。「○○資格って、どんな資格？」「今からでも学習はできるの？」という質問や「フォロー制度ってどんなの？」「教室講座との違いはあるの？」というご質問など、お客様に合わせて情報を提供しております。ぜひ、ご利用ください。また、通信ダイヤルの利用後に、TACホームページ上からアンケートにご回答いただくと、「通信講座限定の入会金 (¥10,000) 免除券」をプレゼントしております。

ハロー！「通信」質問ダイヤル

0120-634-120

※携帯・自動車電話、PHS、衛生電話からもご利用になれます。
<受付時間> 9:30～19:00 (月曜～金曜) 9:30～18:00 (土曜・日曜・祝日)

申込方法

お手続きは簡単です！

詳細については、TAC各校までお問い合わせください。

教育訓練給付制度をご利用の方は、受講申込み後1カ月以内に必ず給付制度申込みを行ってください。

☆0から始まる会員番号をお持ちでない方は、入会金¥10,000(5%税込)が別途必要です(入会金不要講座・免除講座を除く)。会員番号につきましては、TAC各校までお問い合わせください

TAC受付窓口でお申込みの場合



- 申込書に受講料を添えて
- ①現金でのお申込み
 - ②デビットカードでのお申込み(30,000円以上の申込み)



《デビットカードのご利用にあたって》

- ※30,000円以上の講座申込に限ります。
- ※TAC教育ローンの頭金のお支払いには利用はできません。
- ※お客様ごとに利用できる支払い限度額が設定されていますので、予め取引先金融機関にお問合わせください。
- ※一部金融機関のカードでは利用できない場合や、利用可能時間・曜日は金融機関により異なりますので、予め取引先金融機関にお問合わせください。

インターネットでお申込みの場合



http://ec.tac-school.co.jp/

申込可能な商品は限られますのでTAC e受付サイトにてご確認ください。

※支払は、クレジットカード・ジャパンネット銀行リンク決済・コンビニ支払(セブンイレブン・ローソン・ファミリーマート・セブン-マート)・銀行振込となります。

※コンビニ決済は30万円までのお取扱いとなります。



会員証の発行
ご自宅へ郵送(通学講座は窓口渡し)

学習スタート

郵送でお申込みの場合



銀行振込
(口座名) TAC株
(振込先) みずほ銀行/神田支店
普通預金 2142263
※振込は、ATMをご利用ください。
早くて手数料がお得です。



郵便振替
(口座番号) 00140-4-74476
(名 称) TAC株式会社
※郵便局備えつけの「払込取扱票」をご利用いただくか、ATMをご利用ください。

①申込書 ②受講料の振込控え(コピーでも可・インターネット・バンキングでのお振込みの場合には振込終了画面等のTACへの送金を確認できる画面をプリントアウトして添付ください。お客様の口座番号・口座残高は黒塗り等いただいても結構です。)2点を同封しTAC申込手続係へ送付

TAC申込手続係 〒101-8383 東京都千代田区三崎町3-2-18

★お振込控えがない場合、ご本人様の確認ができないため、お申込み手続き、教材の発送等が遅れます。
※振込手数料はお客様ご負担となります。※TACは原則として前払いとなります(一部代引き除く)

会員証の発行
ご自宅へ郵送

学習スタート

大学生協等代理店でのお申込みの場合



生協等の専用申込書に記入し、割引受講料をお支払いください。
※生協等で「申込者控」を必ず受取ってください。

TAC受付で申込書に記入し、「申込者控」(生協等で受取)とともに提出

通信の方は店舗から受取った返信用封筒に「申込者控」「TAC郵送専用申込書」を入れてお送りください。

※取扱店舗により申込方法が異なる場合がございます。また、一部お申込みできない講座・コースもございます。

会員証の発行
TAC受付窓口で手渡し(通信講座はご自宅へ郵送)

学習スタート

- 注意事項
- 当案内書の有効期限は、2008年12月までになります(コースにより申込期限が異なりますので、ご確認の上お申込みください)。
 - 未成年者(20歳未満)が受講申込み(受講料5万円以上)をする場合には、別途親権者の自筆による「同意書」の提出が必要です。
 - TAC提携校では、一部お取扱いできない場合もございますので、予めご了承ください。

教育ローン

分割払いをご希望の方は、**TAC教育ローン**がご利用いただけます。

支払回数は、1回～36回の間で選べます。

TACでは教育ローンを実施しております。ローンの支払回数は、1・3・6・10・12・15・18・20・24・30・36回の中から選択できます。支払方法は、月々均等払いのほかボーナス併用払い、スキップ一括払い、スキップ均等払いもご利用いただけます。

頭金不要、利用金額3万円以上・月々返済額5千円以上でご利用いただけます。

TAC教育ローンはTACで開講される全コースにご利用いただけますが、分割支払の性格上、ご利用金額の最低額について次のような制限があります。

- ①ご利用金額が3万円以上になるようにしてください。
- ②月々の返済額が5千円以上になるようにしてください。
- ③ボーナス併用払いの場合は、ボーナス金額がローン利用金額(元本)の1/2を超えないようにお願いいたします。

注意事項

TAC教育ローンをご利用の際、**お支払引落口座の印鑑と身分証明書(運転免許証等)**をご用意ください。
詳細はTAC受付備置のTAC教育ローン案内書をご覧ください。なお、大学生協等でTAC教育ローンのご利用はできませんので、ご注意ください。
TAC提携校では、一部お取扱いできない場合もございますので、TAC各校にお問い合わせください。

返済金早見表

月々均等払い(2006年6月現在)

支払回数 (手数料)		ローン利用金額 (差引残高の額/円)		
		100,000	150,000	200,000
3回 (1.59%)	初回 月々	33,990 33,800	50,985 50,700	67,780 67,700
6回 (2.79%)	初回 月々	17,290 17,100	26,185 25,600	34,580 34,200
12回 (5.22%)	初回 月々	9,520 8,700	13,730 13,100	17,940 17,500
18回 (7.69%)	初回 月々	7,390 5,900	10,235 8,900	13,080 11,900
24回 (9.64%)	初回 月々	—	8,060 6,800	9,980 9,100

※月々の返済額は5千円以上からのご利用となります。

TAC申込規約

TACの講座にお申込みいただくには、以下の申込規約に従っていただくことになりますので、あらかじめ内容をよくお読みになり、ご理解いただいた上で、お申込みくださいますようお願いいたします。

- 1 【お申込みについて】
 - (1) 受講料をお支払いいただく場合には、TAC受付窓口での現金納入、デビットカード、インターネット、銀行振込・郵便振替、大学生協等代理店、その他TAC指定の方法によりお取扱いいたします。
 - (2) 銀行振込・郵便振替等でのお申込みの場合、振込手数料はお客様のご負担となります。
 - (3) 大学生協等代理店でお申込みの場合、「申込者控」を必ずお取ください。取扱店舗によりお申込み方法が異なる場合がございます。また、一部お申込みのできない講座・コースもございますので、詳しくは直接校舎にお問合わせください。
 - (4) 未成年者(20歳未満)が受講申込み(受講料5万円以上)をする場合には、別途親権者の自署・押印のある「同意書」の提出が必要です。
 - 2 【お申込みの締切について】
 - (1) 講座受講お申込み後における解約・返金についてのお取扱い
ア 講座開始日前の解約・返金について
(7) 講座開始日(注1)前であれば、理由の如何を問わず、お客様からのお申し出により解約・返金させていただきます。
(8) 原則として、受領済み受講料の全額を返金いたしますが、返金処理にかかる銀行振込手数料はご負担いただきます。また教育ローン利用の場合は、さらにローンキャンセル手数料相当分を控除した金額を返金いたします。
(9) 入会金は初期登録手数料(注2)のため、返金の対象とはなりません。
(10) お受取りになった教材類は、返金時までに全てご返却いただきます。その際の送料は、お客様負担とさせていただきます。なお、教材類に折目又は書込みがある場合につきましては、当社所定の価格表に基づき返金額より控除いたします。
イ 講座開始日以後の解約・返金について
(7) 講座開始日以後、下記(1)に掲げる事由により、継続的な講座受講が困難もしくは不可能又は講座受講の必要がなくなった場合には、お申し出ください。ご相談の上、受講料の預かり金処理、受講期間の繰り延べ、受講形態の変更又は解約・返金等させていただきます。お申し出は申込者本人もしくはその代理人又は申込者のご家族に限定させていただきます。その際は、医師の診断書など当該事由が客観的に確認できる書類をご提出いただくこととなります。なお、当該お申し出の期間は下記ウの受講期間の最終日から一月前までといたします。
(8) 継続的な講座受講が困難もしくは不可能又は講座受講の必要がなくなった場合に該当する事由とは、下記のとおりといたします。
① 本人の死亡、重大な心身の疾病、妊娠、勤務先の倒産、長期にわたる海外転勤・海外留学した場所
② 保護者の死亡、重大な心身の疾病及び勤務先の倒産並びにご家族の介護等による著しい生活環境の変化があった場合
③ 受験資格(注3)がないことが講座開始以後に判明した場合
④ その他、講座受講を継続することができない合理的な理由が生じた場合
ウ 上記イ(7)のお申し出により、ご相談した結果、当社が返金する場合の返金額は、受領済み受講料に受講期間(注4)に占める当該受講期間から下記に掲げる経過月数(注5)を控除した月数の割合を乗じて計算した金額を控除した金額(以下、「未受講料相当額」という)から、違約金としての未受講料相当額の20%に相当する金額(上限5万円)を控除した残額(10円未満の端数は切捨て)といたします。
(算式)
受領済み受講料×(受講期間-経過月数)÷受講期間=未受講料相当額
未受講料相当額-未受講料相当額×20%(上限5万円)=返金額
上記ア(4)に定めるローンキャンセル手数料およびア(1)に定める入会金のお取扱いは、講座開始日以後の取消・解約の場合についても準用いたします。
 - (2) 講座に付随したキャンペーン又は特典等として無料でお申込みいただいた講座(以下、無料講座とする)についてのお取扱い
ア 無料講座をご利用されていない場合には(1)アと同様にお取扱いさせていただきます。
イ ア以外の場合には、無料講座分の受講料につきまして正規受講料相当分を申し受けます。なお、算定方法は前記(1)ウを適用して返金額の計算をいたします(ただし、違約金の規定を除く)。
 - 3 【受講料等について】
 - (1) 講座受講お申込み後における解約・返金についてのお取扱い
ア 講座開始日前の解約・返金について
(7) 講座開始日(注1)前であれば、理由の如何を問わず、お客様からのお申し出により解約・返金させていただきます。
(8) 原則として、受領済み受講料の全額を返金いたしますが、返金処理にかかる銀行振込手数料はご負担いただきます。また教育ローン利用の場合は、さらにローンキャンセル手数料相当分を控除した金額を返金いたします。
(9) 入会金は初期登録手数料(注2)のため、返金の対象とはなりません。
(10) お受取りになった教材類は、返金時までに全てご返却いただきます。その際の送料は、お客様負担とさせていただきます。なお、教材類に折目又は書込みがある場合につきましては、当社所定の価格表に基づき返金額より控除いたします。
イ 講座開始日以後の解約・返金について
(7) 講座開始日以後、下記(1)に掲げる事由により、継続的な講座受講が困難もしくは不可能又は講座受講の必要がなくなった場合には、お申し出ください。ご相談の上、受講料の預かり金処理、受講期間の繰り延べ、受講形態の変更又は解約・返金等させていただきます。お申し出は申込者本人もしくはその代理人又は申込者のご家族に限定させていただきます。その際は、医師の診断書など当該事由が客観的に確認できる書類をご提出いただくこととなります。なお、当該お申し出の期間は下記ウの受講期間の最終日から一月前までといたします。
(8) 継続的な講座受講が困難もしくは不可能又は講座受講の必要がなくなった場合に該当する事由とは、下記のとおりといたします。
① 本人の死亡、重大な心身の疾病、妊娠、勤務先の倒産、長期にわたる海外転勤・海外留学した場所
② 保護者の死亡、重大な心身の疾病及び勤務先の倒産並びにご家族の介護等による著しい生活環境の変化があった場合
③ 受験資格(注3)がないことが講座開始以後に判明した場合
④ その他、講座受講を継続することができない合理的な理由が生じた場合
ウ 上記イ(7)のお申し出により、ご相談した結果、当社が返金する場合の返金額は、受領済み受講料に受講期間(注4)に占める当該受講期間から下記に掲げる経過月数(注5)を控除した月数の割合を乗じて計算した金額を控除した金額(以下、「未受講料相当額」という)から、違約金としての未受講料相当額の20%に相当する金額(上限5万円)を控除した残額(10円未満の端数は切捨て)といたします。
(算式)
受領済み受講料×(受講期間-経過月数)÷受講期間=未受講料相当額
未受講料相当額-未受講料相当額×20%(上限5万円)=返金額
上記ア(4)に定めるローンキャンセル手数料およびア(1)に定める入会金のお取扱いは、講座開始日以後の取消・解約の場合についても準用いたします。
 - (2) 講座に付随したキャンペーン又は特典等として無料でお申込みいただいた講座(以下、無料講座とする)についてのお取扱い
ア 無料講座をご利用されていない場合には(1)アと同様にお取扱いさせていただきます。
イ ア以外の場合には、無料講座分の受講料につきまして正規受講料相当分を申し受けます。なお、算定方法は前記(1)ウを適用して返金額の計算をいたします(ただし、違約金の規定を除く)。
- 4 【教育ローンについて】
 - (1) 万、本規約に違反する行為、その他社会通念上のルールを著しく逸脱した行為等があったとTACが判断した場合、TACは何ら通知催告することなしにお客様との受講契約を即時解約し、今後お客様とのお取引一切をお断りする場合があります。
 - (2) その他TACのご利用に際して発生した諸問題については、「TAC利用規定」および各講座の「受講ガイド」等TACの定める諸規定に基づいて対処させていただきます。
- 5 【閉講・クラス閉鎖について】
 - (1) お申込みいただいた講座、コース、クラスが開講日までに開講に必要な定員に達しなかった場合、やむを得ず閉講またはクラスの閉鎖を行う場合があります。その際は、受講方法や、クラスの変更の相談をお受けいたします。変更により受講ができない場合は、お支払いいただいた入会金、受講料の全額をお返しいたします。ただし、事前にクラスの合流等を告知していた場合はこの限りではありません。また、受講料のお支払いに必要で、お客様がご負担になった手数料等(振込み手数料、コンビニ決済手数料、郵送料、教育ローン手数料等)は返金の対象となりません。
- 6 【解約について】
 - (1) 万、本規約に違反する行為、その他社会通念上のルールを著しく逸脱した行為等があったとTACが判断した場合、TACは何ら通知催告することなしにお客様との受講契約を即時解約し、今後お客様とのお取引一切をお断りする場合があります。
 - (2) その他TACのご利用に際して発生した諸問題については、「TAC利用規定」および各講座の「受講ガイド」等TACの定める諸規定に基づいて対処させていただきます。
- 7 【講座運営について】
 - (1) 将来において、現在実施中もしくは実施を予定している講座等の運営をやむを得ず中止することや発達の遅延が生じる場合があります。また、予告なしに内容の追加・修正を行う場合があります。
 - (2) やむを得ない事情により、担当講師、発送日程等が変更となる場合があります。
 - (3) 機器の故障や通信回線の異常等のやむを得ない事情が生じた場合、提供する講座等の運営を一時的に停止する場合があります。
 - (4) 騒乱、天変地異等の不可抗力により、やむを得ず講義を中止したり、TAC教材の発送が遅れた場合にはTACは責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
 - (5) 雪、台風等の風水害・ストなどによって交通機関が一部マヒした場合でも、当日出席する方のため授業を行う場合があります。欠席した方は、フォロー制度をご利用ください。なお、フォロー制度やDVD等の映像講座の視聴予約等の制度については、校舎・コースにより異なる場合があります。お申込み前にご確認ください。
- 8 【教材発送について】
 - (1) 通信講座における教材等は、TACが定めた発送日程に従い、指定する宅配業者または郵便事業者(以下、運送業者等)がお客様へお届けします。窓口でのお受取やTAC社員等によるお届けはできません。また、教材等はお客様ご指定の発送先住所とお客様本人のお名前をあて先として発送します。発送等の状況によっては授業料以外に送料や手数料を別途お支払いいただく場合がございます。なお、TACより発送された教材は運送業者等が定めた運送約款等の規約に従って取り扱われます。
- 9 【会員証について】
 - (1) 会員証は本人のみに有効であり、他人へ譲渡または貸与することはできません。
 - (2) 会員証を紛失した場合には、受付にて再発行いたします。なお、再発行には、別途手数料がかかります。この場合、再発行日以前の講義は欠席分を含めて、日程表どおりに出席したものとして扱います。また、テキスト等の教材もお渡し済みとして処理いたします。
 - (3) 会員証を不正に利用させた場合、並びに不正に利用した場合には、当該コース正規受講料の3倍の料金を申し受けます。
- 10 【在籍証明書について】
 - (1) お申込みいただいた方の中でご希望される方には無料で在籍証明書を発行いたします。ただし、学割等に利用することはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 11 【著作権について】
 - (1) TACがお客様に提供する教材(テキスト、コンテンツ、カセットテープ、データの集合体等以下TAC教材という)に関する財産権はTACに帰属しております。また、お客様に提供されているTAC教材は、著作権法、商標法等により保護されています。
 - (2) TAC教材は、著作権法で定める個人の私的目的以外に使用することはできません。
 - (3) お客様もしくは第三者の方が、TACの許諾を得ないでTAC教材を複製、頒布、譲渡、貸与、翻訳、再利用することはいかなる方法においてもできません。
 - (4) 教室等において受講内容等を収録(録画・録音等)することはできません。
 - (5) 上記に違反した場合は、直ちに差し止めを求め、退会処分させていただきます。加えて民事上の措置(損害賠償等)・刑事上の措置(著作権法)をとらせていただきます。
- 12 【教育訓練給付制度について】
 - (1) 制度の詳細及び指定講座については「教育訓練給付制度」パンフレット等をご覧ください。教育訓練給付制度の支給対象者であるか否かの判定についてはTACでは責任を負いかねますので、ご自身でご確認ください。
- 13 【本試験申込みについて】
 - (1) 講座の申込みとは別に本試験申込みが必要です。試験申込み期間等は年度によって異なる場合があります。TACでは責任を負いかねますので、ご自身で必ずご確認ください。
 - (2) 本試験等の願書申込段階における受験資格の有無につきましてはTACでは責任を負いかねますので、ご自身で必ずご確認ください。
- 14 【自習室】
 - (1) 空き教室は原則「自習室」として利用できますが、場合によっては利用できないことがあります。
- 15 【免責】
 - (1) TACの講座等をご利用になり、その結果としてお客様の知識・技能等の向上、就職・転職等の目的が達成できなかったとしても、TACは一切責任を負いかねます。
- 16 【合意管轄】
 - (1) お客様とTACとの間における一切の訴訟については、東京地方裁判所をもって第一審の専属的合意管轄裁判所とします。
- 17 【規約の変更】
 - (1) 当規約は予告なく変更することがあります。
- 18 【施行日】
 - (1) 平成20年2月1日施行

TAC株式会社

個人情報のお取扱いについて

- 1 事業者の名称 TAC株式会社
- 2 個人情報保護管理者 個人情報保護管理室長
- 3 連絡先 cpo@tac-school.co.jp
- 4 利用目的
お預かりした個人情報は、当社が提供する受講サービス(成績管理、成績発表、会員管理等)に際して利用します。ただし、受講期間終了後も、会員向けの受講案内や就職・転職に関する情報提供に利用する場合があります。
- 5 第三者提供について
お預かりした個人情報は、お客様の同意なしに第三者に開示、提供することはありません(ただし、法令等により開示を求められた場合を除く)。
- 6 共同利用について
TACは、資格取得から就職・転職に関する情報提供などTACグループにおける総合的なサービスを提供するため、TACプロフェッションバンク・TAC提携校と個人情報を共同利用させていただきます。詳細は当社ホームページを参照ください(http://www.tac-school.co.jp)。
- 7 個人情報の取扱いの委託について
お預かりした個人情報を業務委託する場合があります。
- 8 情報の開示等について
個人情報の利用目的の通知、開示、訂正、削除、利用又は提供の停止を請求できます。下記の窓口までご相談ください。
個人情報のに関する問合せ窓口 E-mail: privacy@tac-school.co.jp
- 9 個人情報提供の任意性について
TACへの個人情報の提供は任意です。ただし、サービスに必要な個人情報がご提供いただけない場合は、円滑なサービスのご提供に支障をきたす可能性があります。あらかじめご了承ください。

お申込み上の注意

1

お申込みの際は、TAC受付備え置き書の複写申込み書またはパンフレット刷込の申込み書（通信講座のみ）に必要事項をご記入ください。申込み書に記入する氏名は本試験願書に記入する正式名称を記入してください。

2

①に記入した現住所と教材送付先が異なる場合はご記入ください。

3

受講料一覧表をよくお読みになり、コースNo.クラスNo.をお間違えのないようにご記入ください。コースNo.は6桁、クラスNo.は2桁でご記入ください。

4

再受講割引制度・合格者割引制度をご利用する場合は、それぞれの受講料とコースNo.をご確認の上ご記入ください。

TAC 通信講座 郵送専用 申込書

●通学講座をお申込みの方は、各地区窓口で手続きをお願い致します。

- 1 私は、私の受講する講座案内および当申込書に記載のある「TAC申込規約」と「個人情報の取扱い」についてを承知の上、TAC（株）の講座を申込みます。
- 2 ☐ TACのご受講が初めての方⇒下記太枠内全てにご記入ください。
☐ TACをご受講されたことのある方⇒ご登録住所等に変更のない方は★欄のご記入は不要です。

TAC会員番号 ※TACのご受講が初めての方はご記入不要		受付記入欄 (新会員番号)	
フリガナ	三崎	氏名	三崎 太郎
生年月日	昭和49年4月1日	性別	男
現住所 ※建物名・号棟・室番号までご記入ください。	〒100-0001 東京都千代田区三崎町3-2-18		
職業	会社員	出身校	TAC 大学・専門学校 高校・()
どのように案内資料を入手しましたか? ★ ☒ 011 請求した ☐ 012 大学生協で ☐ 013 書店で ☐ 015 ガイダンス・個別相談等で ☐ 014 校舎のラック ☐ 016 友人・知人から ☐ 009 入手していない			

3 通信講座をお申込みの方はご記入ください。 ※今回お申込み講座の受講期限までの送付先となります。

教材送付先	☐ 上記現住所と同じ(送付先住所の記入は不要です) ☐ 別の住所へ希望(送付先住所を必ずご記入ください)
送付先住所 ※建物名・号棟・室番号までご記入ください。	〒100-0001 東京都 送付先電話番号 ()

4 DVD・Web・ダウンロードメディア(通学+DVD・通学+Web・通学+DL、DVD・Web・DLフォロー含む)をお申込みの方はご記入ください。

動作環境確認	☒ DVD通信講座 ご視聴にはDVD-R対応のプレーヤーが必要です。パソコン・ゲーム機等での再生は動作保証対象外となります。	☐ Web通信・ダウンロード通信講座 TAC WEB SCHOOL無料体験にて、動作環境及び受講利用PCでの体験版講義の動作を確認しました。	※ご注意 動作環境が合わない場合は、サポート対象外となります。
--------	---	--	------------------------------------

5 教育訓練給付制度の指定講座をお申込みの方は必ずご記入ください。

教育訓練給付制度のご利用	☐ 希望しない ☒ 希望する	※教育訓練給付制度を利用する場合は、受給資格の確認と、別途「TAC教育訓練給付制度申請申込書」の記入・申込みを、受講申込後1ヵ月以内に必ず行ってください。
--------------	---	---

6 お申込み講座いずれか1つに○をしてください。

00. 簿記検定	01. アクセス(会計士)	02. 公認会計士	03. 税理士	04. 情報処理/システム	05. 宅建取引主任者
06. 社会保険労務士	07. 行政書士	08. 米田公認会計士	09. 中小企業診断士	10. 証券アナリスト	11. 証券外務員
12. 不動産鑑定士	13. FP	14. DCCプランナー	15. 公務員	16. 建設業経理士	22. BATIC
25. マシシ製・特種試験	26. パソコン/CompTIA	31. ビジネス実務法務検定	32. 通関士	33. CIA(公認内部監査人)	34. 介護福祉士
36. 知的財産管理技能検定	37. ビジネス会計検定	38. IPO実務検定	41. 経営財務プロ養成		

7 パンフレット等をご覧の上ご希望のコースをご記入ください。

コースNo.	コース名	クラスNo.	受講料
02-301	春入学4科目本科生 DVD 通信講座	96	195,000
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-

8 公認会計士講座の選択科目が必要な方は○をしてください。

1. 経営学	2. 経済学	3. 民法	4. 統計学
--------	--------	-------	--------

9 お支払方法に○をし、振込・振替の方は控を裏面に貼付してください。

☐ 銀行振込	☐ 郵便振替	☐ 教育ローン
-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------

※申込書裏面に控を貼付されませんと、ご入金の確認ができませんのでお申込手続きが遅れる場合があります。

●銀行振込【口座名】TAC(株) 【振込先】みずほ銀行 神田支店 普通預金2142263

●郵便振替【口座番号】00140-4-74476 【名称】TAC株式会社

●教育ローンご利用の方は別途「教育ローン申込書」をご記入の上必ず同封ください。

受講料計 ① 195,000
割引額 ②
入会金 ③ 10,000
合計金額(①+②+③) 205,000

受付日	年 月 日	受付者	受付No.
割引情報	☐ G免 ☐ 株優(61) ☐ ステップアップ(23) ☐ その他()	確認欄	☐ 会員証 ☐ 身分証等 ☐ 受講履歴
支払方法	☐ 振込(111)・振替(113) ☐ 代理店(01・03・71・73・その他) ☐ 教育ローン ☐ その他		
備考			

※郵送でお申込みの方は、折り線の位置で折ってください。 TAC株式会社 09/03月 (保管:7Y)

- 0から始まる会員番号をお持ちでない方は、受講料のほかに別途入会金(¥10,000)が必要となります。会員番号につきましては、TAC各校までお問い合わせください。(入会金不要コースは除く)
- 受講料・入会金の中には消費税5%が含まれております。
- 当受講料の有効期間は2009年9月末までです。

注意事項

TAC 通信講座 郵送専用 申込書

●通学講座をお申込みの方は、各地区窓口で手続きをお願い致します。

- 1 私は、私の受講する講座案内および当申込書に記載のある「TAC申込規約」と「個人情報の取扱い」についてを承知の上、TAC（株）の講座を申込みます。
- 2 ☐ TACのご受講が初めての方⇒下記太枠内全てにご記入ください。
☐ TACをご受講されたことのある方⇒ご登録住所等に変更のない方は★欄のご記入は不要です。

署名	平成 年 月 日
----	----------

↑ご署名がない場合はお申込みを受け付けることができません。必ずご記入ください。

TAC会員番号 ※TACのご受講が初めての方はご記入不要		受付記入欄 (新会員番号)	
フリガナ	三崎	氏名	三崎 太郎
生年月日	昭和49年4月1日	性別	男
現住所 ※建物名・号棟・室番号までご記入ください。	〒100-0001 東京都千代田区三崎町3-2-18		
職業	会社員	出身校	TAC 大学・専門学校 高校・()
どのように案内資料を入手しましたか? ★ ☒ 011 請求した ☐ 012 大学生協で ☐ 013 書店で ☐ 015 ガイダンス・個別相談等で ☐ 014 校舎のラック ☐ 016 友人・知人から ☐ 009 入手していない			

3 通信講座をお申込みの方はご記入ください。 ※今回お申込み講座の受講期限までの送付先となります。

教材送付先	☐ 上記現住所と同じ(送付先住所の記入は不要です) ☐ 別の住所へ希望(送付先住所を必ずご記入ください)
送付先住所 ※建物名・号棟・室番号までご記入ください。	〒100-0001 東京都 送付先電話番号 ()

4 DVD・Web・ダウンロードメディア(通学+DVD・通学+Web・通学+DL、DVD・Web・DLフォロー含む)をお申込みの方はご記入ください。

動作環境確認	☒ DVD通信講座 ご視聴にはDVD-R対応のプレーヤーが必要です。パソコン・ゲーム機等での再生は動作保証対象外となります。	☐ Web通信・ダウンロード通信講座 TAC WEB SCHOOL無料体験にて、動作環境及び受講利用PCでの体験版講義の動作を確認しました。	※ご注意 動作環境が合わない場合は、サポート対象外となります。
--------	---	--	------------------------------------

5 教育訓練給付制度の指定講座をお申込みの方は必ずご記入ください。

教育訓練給付制度のご利用	☐ 希望しない ☐ 希望する	※教育訓練給付制度を利用する場合は、受給資格の確認と、別途「TAC教育訓練給付制度申請申込書」の記入・申込みを、受講申込後1ヵ月以内に必ず行ってください。
--------------	--	---

6 お申込み講座いずれか1つに○をしてください。

00. 簿記検定	01. アクセス(会計士)	02. 公認会計士	03. 税理士	04. 情報処理/システム	05. 宅建取引主任者
06. 社会保険労務士	07. 行政書士	08. 米田公認会計士	09. 中小企業診断士	10. 証券アナリスト	11. 証券外務員
12. 不動産鑑定士	13. FP	14. DCCプランナー	15. 公務員	16. 建設業経理士	22. BATIC
25. マシシ製・特種試験	26. パソコン/CompTIA	31. ビジネス実務法務検定	32. 通関士	33. CIA(公認内部監査人)	34. 介護福祉士
36. 知的財産管理技能検定	37. ビジネス会計検定	38. IPO実務検定	41. 経営財務プロ養成		

7 パンフレット等をご覧の上ご希望のコースをご記入ください。

コースNo.	コース名	クラスNo.	受講料
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-

8 公認会計士講座の選択科目が必要な方は○をしてください。

1. 経営学	2. 経済学	3. 民法	4. 統計学
--------	--------	-------	--------

9 お支払方法に○をし、振込・振替の方は控を裏面に貼付してください。

☐ 銀行振込	☐ 郵便振替	☐ 教育ローン
-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------

※申込書裏面に控を貼付されませんと、ご入金の確認ができませんのでお申込手続きが遅れる場合があります。

●銀行振込【口座名】TAC(株) 【振込先】みずほ銀行 神田支店 普通預金2142263

●郵便振替【口座番号】00140-4-74476 【名称】TAC株式会社

●教育ローンご利用の方は別途「教育ローン申込書」をご記入の上必ず同封ください。

受講料計 ①
割引額 ②
入会金 ③
合計金額(①+②+③)

●0から始まる会員番号をお持ちでない方は受講料の他に入会金が必要です。会員番号につきましては、TAC各校までお問い合わせください。
●受講料・入会金には消費税(5%)が含まれています。
●各種割引を適用される方は割引額をご記入ください。

※郵送でお申込みの方は、折り線の位置で折ってください。 TAC株式会社 09/03月 (保管:7Y)

TAC MAP

札幌校 〒060-0005 札幌市中央区北5条西5丁目3番地 sapporo 55 3F ☎011(242)4477(代) JR札幌駅西口より徒歩5分	仙台校 〒980-0021 仙台市青葉区中央1丁目3番1号 エル25F ☎022(266)7222(代) JR仙台駅西口より徒歩3分(高架歩道エル25F直結)	水道橋校 〒100-0001 千代田区三崎町1-3-9 MOCビル4F ☎03(5322)1400(代) JR水道橋駅西口より徒歩2分・地下鉄神保町駅より徒歩7分	新宿校 〒160-0023 新宿区新宿1-10-1 MY新宿二ビル5F ☎03(5322)1040(代) 平日の18:00以降は(日祝は終日)地下2階からエレベーターでお越しください。 JR・私鉄・地下鉄新宿駅中央西口より徒歩5分	早稲田校 公認会計士講座専用校 〒162-0042 新宿区早稲田町75-2 日経ビル1F ☎03(5287)4940(代) 地下鉄早稲田駅1番出口より徒歩1分	
池袋校 〒171-0022 豊島区南池袋1-19-6 池袋パルコビル3F ☎03(5992)2850(代) JR池袋駅西口より徒歩5分	渋谷校 〒150-0043 渋谷区道玄坂1-16-3 日本橋ビル3F ☎03(3462)0901(代) JR・私鉄・地下鉄渋谷駅東口より徒歩5分 京王井の頭線渋谷駅西口より徒歩3分	八重洲校 〒100-0005 千代田区丸の内1-8-2 二重ビル4F ☎03(3218)5525(代) JR東京駅八重洲口より徒歩5分 地下鉄日本橋駅A3出口より徒歩3分	立川校 〒190-0022 立川市曙町1-6-6 立川駅前ビル3F ☎042(528)8898(代) JR立川駅南口・多摩都市モーター立川南口より徒歩5分・代々木セーラー通りより徒歩4分	町田校 〒194-0013 町田市町田16-16 8 町田駅前ビル3F ☎042(721)2202(代) 小田急町田駅より徒歩1分・JR町田駅より徒歩4分	横浜校 〒220-0011 横浜市中区高島2-19-12 スタービル5F ☎045(451)6420(代) JR・私鉄・地下鉄横浜駅東口より徒歩1分
日吉校 公認会計士講座専用校 〒223-0062 横浜市港北区日吉本町1-22-10 日吉駅前ビル3F ☎045(560)6166(代) JR日吉駅西口より徒歩5分	大宮校 〒330-0854 さいたま市大宮区本町1-10-17 プラザ大宮ビル3F ☎048(644)0676(代) JR大宮駅西口より徒歩5分(空中歩道直結)	名古屋校 〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-28-12 名駅ビル3F ☎052(586)3191(代) JR・私鉄・地下鉄名古屋駅西口より徒歩1分	京都校 〒600-8005 京都市下京区東塩小路南東入立売町12-1 東塩小路ビル3F ☎075(255)5210(代) 西条通り地下道南出口より徒歩1分	梅田校 〒530-0015 大阪市北区中崎2-4-12 梅田駅前ビル3F ☎06(6371)5781(代) 阪急梅田駅より徒歩5分・JR大塚駅より徒歩4分	なんば校 〒542-0076 大阪市中央区難波2-2-3 難波ビル3F ☎06(6211)1422(代) 地下鉄なんば駅西口直結

神戸校 〒651-0087 神戸市中央区御幸通6-1-6 神戸駅前ビル3F ☎078(241)4895(代) JR三宮駅西口より徒歩5分・阪神三宮駅より徒歩5分	広島校 〒730-0011 広島市中区基町1-10 プラザ広島ビル3F ☎082(224)3355(代) 広島電鉄紙屋町東電停正面	福岡校 〒810-0001 福岡市中央区天神1-13-6 天神ビル3F ☎092(724)6161(代) 地下鉄天神駅東口改札より11番出口徒歩5分
--	---	--

松本校 松本国際工科専門学校内 〒930-0875 長野県松本市城山1-7-1 ☎0263(50)9511(代) JR松本駅南口より徒歩1分・JR松本駅より徒歩10分	富山校 富山情報ビジネス専門学校内 〒939-0341 富山市三ヶ576 ☎0766(55)5513(代) JR小杉駅北口より徒歩8分	金沢校 エルアンドエルシステム北陸内 〒921-8044 金沢市米7-28-1 ☎076(245)7605(代) JR西金沢駅より徒歩3分	姫路校 穴吹カレッジ内 キャリアアップスクール 〒670-0927 姫路市駅前町254番地 第一ビルビル3F ☎079(281)0500(代) JR姫路駅中央口より徒歩2分	岡山校 穴吹カレッジ内 キャリアアップスクール 〒700-0901 岡山市本町6-30 第一ビルビル3F ☎086(236)0225(代) JR岡山駅中央出口より徒歩3分	福山校 穴吹カレッジ内 キャリアアップスクール 〒720-0066 福山市三之丸30-1 福山駅前ビル3F ☎084(991)0250(代) JR福山駅より徒歩5分
高校校 穴吹カレッジ内 キャリアアップスクール 〒760-0021 高松市の丸の内14-10 ☎087(822)3313(代) JR高松駅より徒歩3分・特電港駅より徒歩5分	徳島校 穴吹カレッジ内 キャリアアップスクール 〒770-0832 徳島市寺島町東3-12-7 マスビル3F ☎088(653)3588(代) JR徳島駅より徒歩1分	熊本校 税理士法人 東京会計グループ 〒860-0844 熊本市水道町9-31 マスビル3F ☎096(323)3622(代) 市電水道町電停より徒歩1分	宮崎校 宮崎ビジネス公務員専門学校内 〒880-0812 宮崎市高千穂通2-2-27 ☎0985(22)6881(代) JR宮崎駅より徒歩4分	鹿児島校 鹿児島情報ビジネス専門学校内 〒892-0842 鹿児島市東千石町19-32 ☎099(239)9523(代) 市電天文館電停より徒歩5分	沖縄校 ●那覇校舎 〒902-0067 那覇市安里1-1-61 キャスティービル2F ☎098(864)2670(代) ●中部校舎 098(938)2074 〒904-0013 沖縄市芝山111-2-20 モリビル校舎より徒歩2分・国際通り安里バス停より徒歩1分

09/03/31 現在

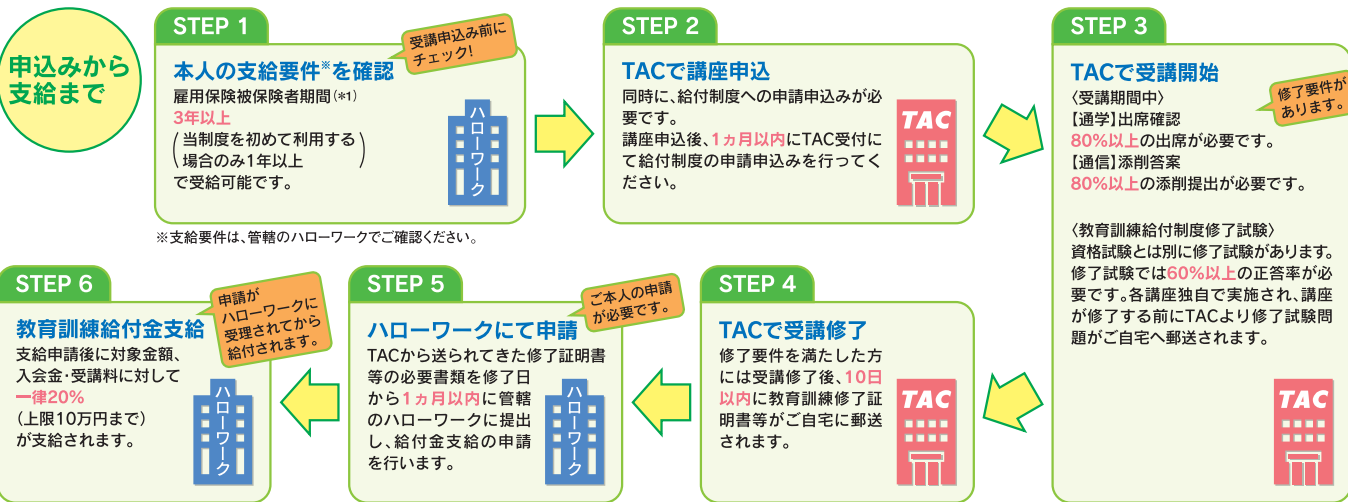


教育訓練給付制度とは

教育訓練給付制度とは、働く人の主体的な能力開発の取組を支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とした雇用保険の給付制度です。一定の条件を満たす雇用保険の一般被保険者(現在、在職中の方)または、一般被保険者であった方(すでにお仕事を退職された方)が、厚生労働大臣の指定する講座を受講し修了した場合、本人が支払った入会金・受講料の20%(上限10万円)が「雇用保険」から支給されます。

支給対象・支給額

一定の雇用保険被保険者期間を経過した方は、受講料に対する20%(上限10万円)が雇用保険から支給されます。(詳しくは以下の「申込みから支給まで」をご覧ください)



(*1) 雇用保険被保険者期間…雇用保険被保険者とは、雇用保険の適用事業所に雇用されている労働者のことをいいます。ここでは一般被保険者を指します。
雇用保険被保険者期間とは、お申込みをする方の受講開始時点での雇用保険への加入期間をいいます。

★詳細についてはTAC発行の「教育訓練給付制度のご案内」をご覧ください。

平成20年10月1日現在



<http://ec.tac-school.co.jp/>

TACの通信講座・公開模擬試験等が、
ネット上でお申込みできます。

ネット上で講座申込みができます！



お申込み可能なコースは？

- 各種通信講座** 各資格の人気コースから、お手軽なコースまでネット上で申込みいただけます(取扱コースの詳細は、サイトにてご確認ください)。
- Web通信講座** 一部のWeb通信講座では、「思い立ったらすぐ受講」即時受講に対応しております。
※クレジットカード・JNBの決済の場合のみ
- 公開模擬試験** 過去問題を徹底分析し、本試験の臨場感が体験できる「公開模擬試験」もこちらでお申込みいただけます。

支払方法は？

- 豊富なバリエーションからご希望の支払方法をご選択いただけます。
- クレジットカード※1 ■銀行振込 ■コンビニ※2
 - ジャパンネット銀行(リンク決済)※3
- ※1…DC、VISA、Master、JCB、AMEX。1回、2回、ボーナス一括払いに加え、分割払いがご利用いただけます。分割払いの回数は、3・5・6・10・12・15・18・20・24回払いの9種類です。AMEXカードでの2回払いはご利用いただけません。
- ※2…全国のセブンイレブン、ローソン、ファミリーマート、セイコマートでお支払いが可能です。コンビニ決済は30万円までのお支払いとなります。
- ※3…ジャパンネット銀行(リンク決済)なら手数料TAC負担でお振込みいただけます。

ガイダンス 無料講座説明会のご案内

講座説明会内容

- ◎CIAとは ◎CIA試験について
◎TACのCIA講座案内 ◎個別相談

特典

無料講座説明会出席者特典
¥10,000 入会金免除券
プレゼント

さらに!!アンケート提出者特典
サンプル問題集プレゼント



「サンプル問題集」

赤字四角数字の日程は、無料講座説明会+無料公開セミナー(後半実施・テーマは下記参照)となります。

	水道橋校	八重洲校	新宿校	渋谷校	なんば校
時間帯	水曜 19:00~20:00 土曜 14:00~15:00 ★印 13:30~14:30	水曜 19:00~20:00	水曜 19:00~20:00 土曜 14:00~15:00 ★印 13:30~14:30	土曜 14:00~15:00 ▲印 13:30~15:00 ★印 16:30~18:00	木曜 19:00~20:00 日曜 11:00~12:00
2009年 4月	11 (土)★・25 (土)★	8 (水)・22 (水)	1 (水)・15 (水)・18 (土)★	4 (土)▲	5 (日)★・23 (木)
5月	20 (水)▲・30 (土)▲	13 (水)▲・27 (水)▲	16 (土)	23 (土)▲	17 (日)
6月	6 (土)	3 (水)・24 (水)	10 (水)・27 (土)	13 (土)	14 (日)
7月	25 (土)▲	8 (水)・29 (水)▲	11 (土)・22 (水)	4 (土)★	12 (日)
8月	22 (土)	5 (水)・26 (水)▲	1 (土)・19 (水)	8 (土)	9 (日)
9月	9 (水)・26 (土)▲	2 (水)・30 (水)▲	5 (土)	12 (土)	20 (日)

無料講座説明会+無料公開セミナーのご案内

TACでは、下記のテーマ別に無料公開セミナーを実施しております。無料講座説明会とともに、お気軽にご参加ください。
[講座説明会30分]+[テーマ別セミナー60分]+[個別相談]

タイトル	内 容	実施地区および日時
1 めざせ短期合格!! 「CIA試験合格のためのポイント」	受験戦略なくして短期合格なし。そのノウハウがいかになく証される、CIA受験生必見の特別セミナーです。	水道橋校 4/25(土) なんば校 4/5(日)
2 PartI~IV開講直前!! 「徹底分析・CIA試験」	敵を知り己を知らば百戦危うからず。CIA試験を熟知することが、短期合格への第一歩です。TACがCIA試験を徹底分析します。	八重洲校 4/8(水)・6/3(水)・7/8(水) 7/29(水)・8/26(水)・9/30(水)
3 4科目本科生開講直前!! 「経営管理の基礎知識」	PartIV受験免除者に追いつけ追い越せ。PartIV合格に勢いをつける、スタートダッシュセミナーです。	渋谷校 4/4(土)
4 IT対策セミナー実施!! 「CIA試験最難関・IT攻略法」	ITを制する者はCIA試験を制す。科目横断的に出題されるITについて、出題傾向を分析、その攻略法をご説明します。	渋谷校 7/4(土)
5 PartIII開講直前!! 「財務会計・管理会計の基礎知識」	CIA試験を受験したいが、会計をまったく知らない…そんなあなたも安心です。プロの講師が会計のフレームワークについて、易しくご説明します。	水道橋校 5/30(土)・9/26(土)
6 実務家セミナー実施!! 「実務家が語るCIAの魅力と展望」	J-SOXのスタートとともに、急速にニーズが高まっているCIA資格。その最前線の状況を実務家をご説明します。	水道橋校 5/20(水)・7/25(土) 八重洲校 5/13(水)・5/27(水) 渋谷校 5/23(土)

無料体験入学のご案内

TACの講義は、教室またはTAC各校のビデオ(DVD)ルームで、お申込み前に体験していただくことができます。TAC各校の受付窓口にて所定の手続きを行い、ご利用ください。なお、ビデオ(DVD)ルームのご利用にあたっては、右記の時間帯にて、事前にご予約をお願いいたします。

① 9:30~12:30 ③ 15:30~18:30
② 12:30~15:30 ④ 18:30~21:30

※日曜日は、④の時間帯はございません。

TAC 動画チャンネル

セミナーや講座説明会がWeb上で視聴できる!!

資格の概要や試験制度・TACのカリキュラムをお話する「講座説明会」、実務の世界や効率的な学習法をお話する「セミナー」、実際の講義を視聴できる「無料体験講義」、その他、多様なジャンルの動画を全て無料でご覧いただけます。

<http://www.tac-school.co.jp/>



TACの事業内容

個人教育事業／法人研修事業／
出版事業／人材事業

資格の学校
TAC